

年 報
平成 22 年度

栗東歴史民俗博物館

も く じ

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 運営基本方針・重点目標 | 2 |
| 2. 施設の概要 | 3 |
| (1) 沿革 | 3 |
| (2) 施設の概要 | 4 |
| (3) 平成 22 年度に行ったメンテナンスの記録と課題 | 7 |
| 3. 企画展等開催事業 | 8 |
| (1) 展示 | 8 |
| () 通史展示「栗東の歴史と民俗」 | 8 |
| () 特集展示およびその他の展覧会 | 10 |
| 特集展示など | 10 |
| ロビー展示 | 11 |
| その他の展覧会 | 11 |
| (2) 教育普及活動 | 11 |
| () 展示（通常展示・企画展共）に関わるもの | 11 |
| 展覧会に伴う講演会等 | 11 |
| 旧中島家住宅での体験教室 | 11 |
| () 学校との連携 | 12 |
| 博物館教室「昔の暮らし」 | 12 |
| 勤労体験学習（チャレンジウィーク事業） | 12 |
| 博物館実習の受入れ | 12 |
| () 情報の発信 | 13 |
| 刊行物 | 13 |
| ホームページ等による広報活動 | 13 |
| ポスター・チラシ等による広報活動 | 13 |
| 4. 市民参画推進事業 | 14 |
| (1) 栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会 | 14 |
| () 市民学芸員の会例会『東海道名所図会』輪読会 | 14 |
| () 市民協働事業「市民とともに作る博物館～協働展覧会の開催～」 | 15 |
| (2) RISS ミュージアムロビーコンサート | 16 |
| 5. 史料の収集と保管・活用 | 17 |
| (1) 資料の収集 | 17 |
| () 購入資料 | 17 |
| () 受贈資料 | 17 |
| () 受託資料 | 17 |
| () 移管資料 | 17 |
| () 資料修復 | 17 |
| () 受贈図書 | 19 |
| (2) 資料の保管 | 32 |
| () 収蔵環境管理 | 32 |
| () 生物被害対策 | 32 |
| (3) 資料の活用 | 32 |
| () 資料貸出 | 32 |
| () 特別利用 | 33 |
| 5. 組織と管理運営 | 36 |
| (1) 組織 | 36 |
| (2) 職員 | 36 |
| (3) 職員の活動 | 36 |
| (4) 博物館協議会 | 38 |
| (5) 決算 | 39 |
| (6) 入館者数 | 40 |

1.運営基本方針および重点目標

平成 22 年度 栗東歴史民俗博物館運営基本方針

1. 基本方針

栗東歴史民俗博物館は、地域の優れた歴史的文化遺産を市民の共通遺産として受け継ぎ、次の世代へと伝えていくため、地域にかかわる博物館資料の収集・保存に努め、博物館資料の情報を広く市民に提示することを目的としています。地域文化を物語る資料の掘り起こしを進め、住民一人ひとりの自主的な生涯学習活動を支援し、市民に活用される、開かれた博物館づくりを基本に、地域とともに歩み、歴史を身近に感じられるまちづくりの推進に寄与してまいります。

2. 重点目標「市民とともに楽しみ、活動する博物館へ」

歴史民俗博物館では展示室の開室日について年間 150 日を確保し、常設展示のなかで栗東の豊かな歴史と文化にふれる展示の充実を努め、大宝神社の文化財の歴史や市民学芸員と協働で調査整理した鉄道展、下鉤地域の資料調査の成果などを特集いたします。

歴史を学び地域の誇りを育む博物館として、地域に関わる博物館資料の収集・保存・調査を進め、一括収蔵の資料について詳細な目録化を目指します。また、博物館資料に対する理解を深め、博物館活動のパートナーとして市民学芸員の自主的な学習支援の充実を図り、市民とともに楽しみ、活動する博物館づくりに努めてまいります。

さらに、児童生徒が地域の資料に親しみ、地域文化の継承を図るため、博物館教室「昔の暮らし」における体験学習プログラムの充実を努め、博学連携をさらに進めてまいります。

2.施設の概要

(1) 沿革

| | |
|-----------------|---|
| 昭和 56 年 9 月 | 栗東町総合計画基本計画に歴史民俗資料館の建設が設定 |
| 昭和 57 年 11 月 | (財)栗東町文化体育振興事業団より早期建設及び建設促進についての要 |
| ・59 年 11 月 | 望書が出され、請願書として採択される |
| 昭和 60 年 3 月 | 自然休養公園構想が策定され、文化教養施設ゾ - ンに資料館建設が位置づけられる |
| 昭和 60 年 7 月 | (財)栗東町文化体育振興事業団に「(仮称)栗東町歴史民俗資料館及び図書館建設構想」策定の委託を行う |
| 昭和 61 年 1 月 | (財)栗東町文化体育振興事業団より提出された「(仮称)栗東町歴史民俗資料館及び図書館建設構想」報告書を町議会に報告 |
| 昭和 61 年 4 月 | 社会教育課に歴史民俗資料館開設準備係を設置 |
| 昭和 61 年 10 月 | 栗東町歴史民俗資料館建設準備委員委嘱 委員 9 名 |
| 昭和 62 年 4 月 | 歴史民俗資料館準備室設置 |
| 昭和 62 年 9 月 | 展示基本設計業務をト - タルメディア開発研究所に委託(～63 年 3 月) |
| 昭和 62 年 10 月 | 建築設計・監理業務を富家建築事務所に委託(～平成元年 3 月) |
| 昭和 63 年 5 月 | 展示実施設計業務をト - タルメディア開発研究所に委託(～平成元年 3 月) |
| 昭和 63 年 5 月 | 用地造成工事始まる |
| 昭和 63 年 7 月 | (仮称)栗東歴史民俗博物館新築工事着工 |
| 平成 元年 3 月 | (仮称)栗東歴史民俗博物館新築工事竣工 |
| 平成 元年 7 月 | 展示工事着工 ト - タルメディア開発研究所(～平成 2 年 8 月) |
| 平成 2 年 9 月 22 日 | 開館記念式典 |
| 平成 2 年 9 月 23 日 | 開館記念講演会「奈良時代の仏教文化 - 渡来と土着 - 」 梅原 猛氏 開館記念展「栗東の宗教文化」開催 |
| 平成 6 年 5 月 | 旧中島家住宅一般公開 |
| 平成 6 年 8 月 | 博物館法に基づく博物館登録 |
| 平成 6 年 9 月 | 町制 40 周年記念展「近江と馬の文化」開催 |
| 平成 7 年 10 月 | 開館 5 周年記念展「金勝寺 - 良弁説話と二十五別院 - 」開催 |
| 平成 9 年 2 月 | 文化財保護法の規定に基づく公開承認施設として承認される |
| 平成 12 年 10 月 | 開館十周年記念展「鈎の陣とその時代」開催 |
| 平成 13 年 10 月 | 市制施行記念展「近江の街道」開催 |
| 平成 13 年 10 月 | 市制施行記念展パネル展「栗東市の誕生」開催 |
| 平成 14 年 3 月 | 公式ホ - ムペ - ジ開設 |
| 平成 14 年 9 月 | 文化財保護法の規定に基づく公開承認施設として再承認される |
| 平成 19 年 9 月 | 文化財保護法の規定に基づく公開承認施設として再承認される |
| 平成 19 年 10 月 | 旧中島家住宅が文化財保護法に基づく登録有形文化財として登録される |
| 平成 20 年 4 月 | 栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会(通称:いがぐりの会)発足 |
| 平成 21 年 11 月 | 里内文庫資料が滋賀県指定有形文化財に指定される |
| 平成 22 年 9 月 | 市民協働事業「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」開催 |

(2) 施設の概要

【本館】

建築工事の概要

| | |
|--------|--|
| 設計・監理 | 富家建築事務所 |
| 設計期間 | 昭和62年10月～昭和63年5月 |
| 施工 | 建築・機械 村本・笹川組共同企業体 |
| 電気 | 近畿電気工事(株) |
| 敷地面積 | 7,410.95 m ² |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| | 基礎 PHC杭、回転ミルク埋め込み工法 |
| | 規模 地上2階建、塔屋1階 |
| | 軒高 9.3m 主なスパン / 12m × 7m |
| | 最高高 14.3m 階高 / 6.3m (展示室) |
| | 天井高 展示室 4.5m・収蔵庫 3m |
| | 建築面積 2,040.96 m ² |
| | 延床面積 2,935.00 m ² 1階 1,900.55 m ² 2階 987.91 m ² |
| 面積配分 | 導入 176.85 m ² (6.0%) |
| | 展示 710.52 m ² (24.2%) |
| | 教育普及 258.41 m ² (8.8%) |
| | 収蔵 873.66 m ² (29.8%) |
| | 調査研究 228.75 m ² (7.8%) |
| | 管理・他 686.81 m ² (23.4%) |
| | 合計 2,935.00 m ² (100.0%) |
| 建ぺい率 | 29.4% 容積率 42.3% |
| 指定地域地区 | 第一種住専、住居、市街化調整区域 |
| 工期 | 昭和63年7月～平成元年3月 |

展示工事概要

| | |
|-------|-----------------|
| 設計・施工 | ト・タルメディア開発研究所 |
| 基本設計 | 昭和62年9月～昭和63年3月 |
| 実施設計 | 昭和63年5月～平成元年3月 |
| 工期及委託 | 平成元年7月～平成2年8月 |

設備概要

| | |
|-------|--|
| 空調 | 各系統空調機より単一ダクトと、VAV方式 + ファンコイル方式 特別収蔵庫・収蔵庫1、収蔵庫2、収蔵庫3、第1展示室・第2展示室、研修室、 学芸室の各系統毎に空調機設置 |
| | 熱源 空気熱源ヒートポンプチラ - 冷温水同時取出型 50RTX2 基 冷温水切替型 50RTX1 基 |
| 給排水衛生 | 給水 栗東市水道直圧方式 給湯 電気温水器、電気湯沸器 排水 汚水、雑排水合流を市下水道へ放流 |
| 電気 | 受電 6KV 375KVA |

配電 電灯 単相 75KVA 100 / 200V
 動力 3相 300KVA 200V

照明 展示室・研修室 / 調光器を装備し高演色性、紫外線防止用電球色 蛍光灯を使用、第1展示室では一部白熱灯併用、第2展示室・研修室では展示構成の変化にたいしてライティングダクト使用による白熱灯併用を可能としている。
 展示ロビ - ・収蔵庫 / 紫外線防止用電球色蛍光灯
 その他 / 一般照明

防災 消火 / 屋内消火栓、消火器
 ハロンガス消火設備 / 各展示室、各収蔵庫
 感知 / 自動火災報知設備
 排煙 / 自然排煙
 防犯 / 機械警備
 中央監視盤設備 設備機器の運転及び監視

昇降機 荷物用油圧エレベ - タ - 1台 2,000 kg 30M / MIN

主な内部仕上

収蔵庫 床 / 鋼製根太組・コンパネ + ブナフロ - リング
 壁・天井 / ギャラリー - ポ - ルト(特収・収1) 繊維混入ケイ酸カルシウム板(収2・収3)

館内平面図・面積表



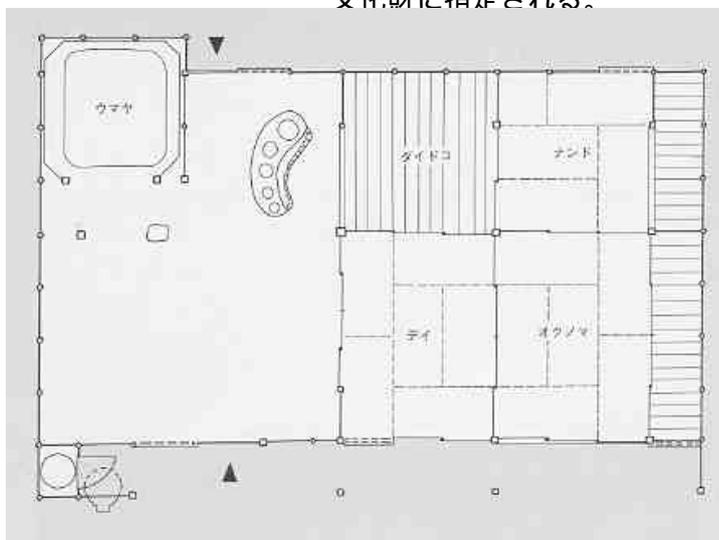
| | | | | | | | | |
|--------|------------|--------|---------|-----------|---------|--------------|------|------|
| 導入部門 | 風除室 | 23.1 | 収蔵部門 | 収蔵庫3 | 127.69 | 管理部門 ・その他 | 控室 | 6.08 |
| | ロビ - ・ラウンジ | 153.75 | | 収蔵庫前室1 | 45.21 | | 洋式便所 | 5 |
| 展示部門 | 第1展示室 | 383.61 | 収蔵庫前室2 | 11.01 | 来館者用便所 | 29.65 | | |
| | 第2展示室 | 180.61 | 学芸室 | 114.27 | 掃除用具入 | 2.2 | | |
| | 展示ロビ - | 91.53 | 調査室 | 28.32 | 職員用便所1 | 7.97 | | |
| 教育普及部門 | 展示資材室 | 54.77 | 資料室 | 11.96 | 職員用便所2 | 2.16 | | |
| | 研修室 | 191.8 | シャワ - 室 | 32.22 | 倉庫1 | 29.92 | | |
| 収蔵部門 | 資材倉庫 | 66.61 | 写場 | 1.25 | 倉庫2 | 5.87 | | |
| | 搬入口 | 39.45 | 暗室 | 8.93 | 機械室・電気室 | 129.42 | | |
| | 荷解室 | 70.9 | 管理事務室 | 44.08 | ハロンポンベ室 | 13.24 | | |
| | 一時保管庫 | 24.5 | 館調湿 | 11.84 | 消火ポンプ室 | 10.28 | | |
| | 修理工作室 | 60.43 | 会議室 | 57.13 | EV | 28.48 | | |
| | 燻蒸室 | 29.74 | 受付 | 10.12 | EV機械室 | 27.72 | | |
| | 特別収蔵庫 | 134.61 | 湯沸室 | 4.67 | 廊下 | 189.09 | | |
| | 収蔵庫1 | 97.11 | 更衣室 | 11.72 | 階段 | 43.72 | | |
| 収蔵庫2 | 233.01 | 印刷室 | 8.62 | ダクトスペ - ス | 8.19 | | | |

【旧中島家住宅（移築民家）】

建築工事の概要

設計・監理 吉田社寺並一般建築事務所
設計期間 平成5年5月14日～平成6年2月28日
施工 建築 (株)北中建設
施行期間 平成5年10月15日～平成6年3月25日
施行 平成6年1月31日～平成6年3月20日
建物構造 木造平屋建て民家
桁行 12.665m 梁間 7.95m (一部 8.68m)
本建：入母屋造り茅葺き (桁行 8.96m 梁間 4.95m)
四面庇付棧瓦葺
建築面積 102.58 m² 延床面積 91.81 m²

概要 当建物は、幕末から明治初年（推定）に、現栗東市霊仙寺に創建された農家住宅で、昭和61年2月に解体され、平成5年度に解体材と新補材により博物館敷地内に移築復原した。当民家は創建以来、幾度もの改造及び修理を行っているが調査および史料により創建当初の型式に復元した。なお、建物の維持管理上、附带工事として給水・排水および電気工事を施工した。平成6年3月25日竣工し、同5月1日より一般公開。平成19年10月2日、国の登録有形文化財に指定される。



平面図



外観

(3) 平成 22 年度に行ったメンテナンスの記録と課題

博物館収蔵資料の保存に万全を期し、安全で快適に利用するための博物館施設を維持するため、以下のような博物館施設・設備の良好な維持管理および収蔵品や展示物の適切な環境整備を実施した。

なお、開館以来 20 年以上を経て、各種機器の劣化が進む一方で、空調制御機器、蒸気発生器など交換部品の入手、修理は年々困難となっている。既存の機器を効率的に運用しつつ、計画的に機器のリニューアルを図っていくことが必要である。

1) 博物館施設・設備維持管理・警備等にかかる業務委託

旧中島家住宅管理業務（委託先：社団法人 栗東市シルバー人材センター）

清掃業務（委託先：企業組合 労協センター事業団 栗東支店）

警備業務（委託先：総合警備保障株式会社 滋賀支社）

電極式蒸気発生器保守点検業務（委託先：ピーエス工業株式会社 大阪営業所）

消防設備保守点検業務（委託先：株式会社初田製作所 関西支社）

エレベーター保守点検業務（委託先：クマガイ工業株式会社）

自家用電気工作物設備保安管理業務（委託先：石本電気設備管理事務所）

空調設備等保守点検業務（委託先：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

空調機制御機器保守点検業務（委託先：株式会社山武ビルシステムカンパニー 関西支社）

燻蒸庫燻蒸・館内生息昆虫モニタリング調査業務（委託先：株式会社エフ三益）

植栽管理業務（委託先：社団法人 栗東市シルバー人材センター）

映像放送機器点検業務（委託先：キノンビクス株式会社）

2) 給水配管更新工事（施工：関西設備工業株式会社）

3) エレベーターシーケンサ取替工事（施工：クマガイ工業株式会社）

4) 温水配管用消音装置取替工事（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

5) CR-2 系統冷水一次ポンプ取替作業（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

6) 空調機冷水温水二次ポンプ用ブレーカ交換（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

7) 温水配管エア抜きバルブ交換（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

8) CR-3 系統ヒートポンプチラーガス漏れ修理

（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

9) ハロゲン化物消火設備容器交換（施工：株式会社初田製作所 関西支社）

10) 旧中島家住宅縦樋交換修繕（施工：竹中板金）

11) 旧中島家住宅排水管用布設替工事（施工：大藤水道工業所）

3.企画展等開催事業

栗東市では、市財政の危機を回避し、財政構造の健全化を図るため、平成 21 年度から 3 ヶ年の予定で「栗東市財政再構築プログラム」を策定した。歴史民俗博物館では、同プログラムの一環として、当平成 21～23 年度にかけての企画展の開催を見合わせることにしている。

このような状況のもと、地域の資料に対する調査を進め、博物館収蔵資料を中心とした良質で分かりやすい展覧会を開催することが求められているが、平成 22 年度には、第 1 展示室での通史展示「栗東の歴史と民俗」のほか、第 2 展示室を会場とした特集展示を 5 本、ロビー展示を 1 本開催した。また、博物館教室「昔の暮らし」の開催など、移築民家旧中島家住宅や博物館収蔵資料を活用した体験学習プログラムの充実も図っている。

今後、博物館活動の活性化、利用者の拡大に努め、博物館資料の活用による社会への貢献を果たすため、事業企画能力の向上、博物館活動への市民参画の仕組みの検討、博物館を有効に利用するための情報の発信など、博物館からの働きかけを行なうことが必要である。

(1) 展示

第 1 展示室の通史展示「栗東の歴史と民俗」を考古、美術工芸、歴史、民俗などの各分野から通史的にたどりつつ、展示内容の充実をはかった。

また、通史展示の内容をより深め充実させること基本に、第 2 展示室を用いた特集展示として、「大宝神社の文化財」、「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」、「2008,2009 埋蔵文化財発掘調査成果展」、「栗東の画家たち」、「下鉤の歴史と文化」を開催し、ロビー展示として「平和のいしずえ 2010」を開催した。

とりわけ、「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」は、平成 19 年に旧国鉄に勤務されていた竹村定治さん（伊勢落在住）より、ご寄贈いただいた鉄道模型や鉄道関連資料からなる総点数 3,000 点余りを数える鉄道コレクションについて、当館の市民学芸員の会と博物館学芸員が協力して調査・整理を進めてきた成果を公開するものとなった。本展は、平成 21 年 9 月に募集のあった栗東市の「協働事業提案制度」に、当館市民学芸員の会と当館の協働事業「市民とともに作る地域の博物館～協働展覧会の開催～」として採択された事業の一環であり、市民から寄贈を受けた資料を、市民の手で多くの方に公開することができた。

() 通史展示「栗東の歴史と民俗」(第 1 展示室)

栗東の歴史と文化を、考古・歴史・民俗・美術工芸の各分野から通史的にたどる。

栗東の古墳

年度前半に新開 1 号墳・4 号墳、小槻大社 10 号墳などの古墳からの遺物、古墳時代の集落遺跡である岩畑遺跡からの遺物を紹介。年度後半は新開 1 号墳、新開西古墳群、狐塚古墳群からの遺物のほか、霊山寺遺跡、辻遺跡などの集落遺跡からの遺物を紹介。また、岡遺跡の郡衙に関連する遺物も併せて紹介した。

花開く宗教文化

金勝寺とその文化圏の寺院に伝わる平安時代および鎌倉時代の諸像を紹介した。

足利義尚と鉤の陣

長享元年（1487）近江国守護六角高頼を征伐するために將軍足利義尚が出陣し、現在の栗東市内に陣をおいた鉤の陣について、義尚の母である日野富子像（複製 原品は宝鏡寺蔵）や、義尚の跡を継いだ足利義材による第 2 次六角氏征伐に際して、砥山庄での六角氏の押妨を禁じた室町幕府奉行人連署奉書（複製 原品は国立公文書館蔵）足利義尚死去の様子を記した『後法興院記』（複製）などを通じて紹介した。

街道の生活

栗東市内を通る東海道、中山道を取り巻く暮らしや文化を紹介した。年度前半は東海道梅ノ木立場の名物和中散や東海道目川立場の名物目川田楽に関わる資料を展示した。年度末には、和中散をはじめ街道沿いで売られていた薬に関する資料を展示した。

水とくらし

年度前半に、近世の栗東での用水利用にかかわる慣例や治水方法について、主に野洲川から取水する井組に伝わる資料をもとに紹介。

栗東の真宗文化 - 蓮如と栗東 -

近江の地で直接教化活動を行った蓮如の影響を受け、栗東を含む近江湖南地域は真宗への信仰が厚い。年度の前半に、栗東の真宗寺院に伝わった蓮如、それに続く実如関係する資料のうち、蓮如筆とみられる長徳寺蔵の六字名号、実如の裏書のある方便法身尊像などを紹介した。

辻の鋳物師

辻村（現在の栗東市辻）を本貫地として全国に出職した近世最大級の鋳物師集団、辻の鋳物師について、平成 14 年度の企画展「近江の鋳物師 - 辻村鋳物師の活躍 - 」や、その後の調査の成果をもとに紹介。

街道から鉄道へ～手原駅の今昔～

草津線開業 120 周年を記念して、「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」の会期から年度後半にかけて、手原駅の開業や、その後の手原駅の歴史について紹介した。

手原 SL 公園と栗東駅の開業

「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」の会期から年度後半にかけて、草津線を走った蒸気機関車を記念して開設された手原 SL 公園と、平成 3 年（1991）の栗東駅開業に関する資料を展示した。

栗東の山の神

栗東の代表的な民俗行事である山の神行事のうち、上砥山の山の神、六地藏の山の神、山入・上田の山の神、走井の山の神を紹介。

水の利用と民俗

年度前半から年度末にかけて、水にかかわる資料から、特に墨書のある水車、スッポンを特集。また、水にかかわる民俗行事として、水口まつりを紹介。

紡ぐ～栗東の機織り道具～

年度末に、かつて栗東で多くの人々が生業としていた機織りの道具を、収穫された綿を加工し、糸に紡ぐまでの行程順に、道具の形状や素材などの特徴と併せて紹介。

() 特集展示およびその他の展覧会(第2展示室・ロビー)

特集展示など

小地域展「蜂屋の歴史と文化」

平成 22 年 3 月 6 日(土)～4 月 18 日(日)

会期中の入館者 553 名

(内平成 22 年度 345 名)

旧大字単位で地域を取り上げ、その歴史と文化を紹介するシリーズ。平成 21 年度は大宝地域から、蜂屋地区を取り上げた。蜂屋地区は古代、蜂屋寺があったと伝わる地域で、近年の発掘調査では飛鳥～奈良時代にかけての遺構が検出されるなど、古くから人の営みのあったことが分かっている。

本展では、そのような蜂屋の歴史と文化を紹介した。

特別展示「大宝神社の文化財」

平成 22 年 4 月 29 日(祝)～7 月 19 日(祝)

会期中の入館者 1,649 名

当館が平成 2 年の開館以来寄託を受けている「大宝神社文書」は 2,000 点におよぶ資料群である。その内容に目を向けると、神事・祭礼に関する史料や社殿などの建築に関する史料から大宝神社の歴史を痛感することができるばかりではなく、隣地域及びその近郷を始めとした、今日の栗東市域の歴史を知ろううえで非常に重要な史料となっている。

本展では、『大宝神社文書』を中心に大宝神社に伝わる文化財を紹介した。

市民協働事業「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」

平成 22 年 9 月 18 日(土)～10 月 11 日(祝)

会期中の入館者 5,931 名

当館では、平成 19 年に、旧国鉄に勤務されていた竹村定治さん(伊勢落在住)より、鉄道模型や鉄道関連資料からなる鉄道コレクションをご寄贈いただいた。竹村さんが生涯にわたって収集されたコレクションは、鉄道模型、記念切符やメダル、コインなどの鉄道記念グッズ、書籍や雑誌等の資料類など総点数は 3,000 点余りを数えた。コレクションの調査・整理は、当館の市民学芸員の会と博物館学芸員が協力して進めてきた。本展では、これまでの調査成果をもとに、竹村さんのコレクションの中から、特に日本国内を走行していた列車の模型を中心に選りすぐって紹介した。

なお、本展は、平成 21 年 9 月に募集のあった栗東市の「協働事業提案制度」に、当館市民学芸員の会と当館の協働事業「市民とともに作る地域の博物館～協働展覧会の開催～」として採択された事業の一環であり、市民から寄贈を受けた資料を、市民の手で多くの方に公開するものとなった。

また、会期中の 9 月 18 日(土)～20 日(祝)、26 日(日)、10 月 3 日(日)、9 日(土)～11 日(祝)には、鉄道模型運転会を開催した(協力：じゃりちゃん鉄道)。

2008・2009 埋蔵文化財発掘調査成果展 (財団法人栗東市文化体育振興事業団との共同開催)

平成 22 年 10 月 23 日(土)～12 月 5 日(日)

会期中の入館者 1,830 人

文化財が貴重な国民財産であり、保存が歴史的に重要であることを理解していただくため、また、栗東市の歴史に深く興味を持ち、親しんでもらうことを目的として、栗東市内で 2008～2009 年度に発掘調査の成果を公開した。辻遺跡、下鉤東・蜂屋遺跡、多福寺遺跡などの出土品を中心に紹介した。

会期中の 11 月 20 日(土)には、成果報告会を開催した。

特集展示「栗東の画家たち」

平成 23 年 1 月 22 日(土)～2 月 20 日(日)

会期中の入館者 3,890 人

栗東が生み、近代の画壇に確かな足跡を残した洋画家国松桂溪(1883～1962)と、日本画家西田恵泉(1902～1980)の作品を紹介した。

小地域展「下鉤の歴史と文化」

平成 23 年 3 月 5 日(土)～4 月 17 日(日)

会期中の入館者 371 名

*ただし平成 22 年度中の入館者数

旧大字単位で地域を取り上げ、その歴史と文化を紹介するシリーズ。平成 22 年度は治田地域から、

下鉤地区を取り上げた。下鉤地区を中心とした下鉤遺跡では、弥生時代中期から後期の集落跡が発見されており、古くから人々が集住していたことが知られ、中世には、鉤荘の荘域であったと考えられている。後に上下に分かれ、今日の上鉤と下鉤に繋がっており、中山道沿いに位置する下鉤村には、江戸時代には糠田井・蓮台寺の二つの枝郷があり、草津宿の助郷となっていた。村内では、青花の栽培が盛んに行われていました。明治時代になると、地区内を湖東鉄道（現在の JR 東海道線）や関西鉄道（現在の JR 草津線）が通り、交通の要衝として発展していった。

本展では、そのような下鉤の歴史と文化を紹介した。

ロビー展示

平和のいしずえ 2010

平成 22 年 7 月 31 日（土）～9 月 5 日（日）

会期中の入館者 703 名

開館以来、毎夏開催している「平和のいしずえ」展シリーズ。平成 22 年度はアジア・太平洋戦争下の栗東及びその周辺で行われた様々な“報国運動”をテーマに、地域と戦争との関係について、館蔵資料と滋賀県所蔵資料から特集した。

その他の展覧会

第 41 回栗東市青少年美術展

平成 23 年 1 月 28 日（金）～1 月 30 日（日）

会期中の入館者 2,792 名

第 9 回びわこ子ども造形展 * 滋賀県美術教育研究会と共催

平成 23 年 2 月 16 日（水）～2 月 20 日（日）

会期中の入館者 495 名

(2) 教育普及活動

() 展示(通史展示・特集展示とも)に関わるもの

展覧会に伴う講演会・関連行事等

1) 鉄道模型運転会（市民協働事業「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」関連行事）

開催日：9 月 18 日（土）～20 日（祝）、26 日（日）

10 月 3 日（日）、9 日（土）～11 日（祝）

協力：じゃりちゃん鉄道

参加者数 3,857 名

2) 2008・2009 埋蔵文化財発掘調査報告会（「2008・2009 埋蔵文化財発掘調査成果展」関連行事）

日時：11 月 20 日（日） 13:30～16:30

講師：財団法人栗東市文化体育振興事業団

雨森 智美 氏

近藤 広 氏

佐伯 英樹 氏

猿向 敏一 氏

藤岡 英礼 氏

展示解説：

栗東歴史民俗博物館

櫻井 信也

参加者数 20 名

旧中島家住宅での体験講座

博物館講座「かまどめしを炊こう!!」

開催日時：4 月 17 日、5 月 15 日、6 月 19 日、7 月 17 日、8 月 28 日、9 月 25 日、10 月 23 日、

11 月 20 日、3 月 19 日 いずれも土曜日

10 時～14 時ごろ

定員毎回 20 人 参加者数：大人 82 人、子ども 68 人、計 150 人

かまどでご飯を炊き、味噌汁をつくり、昔ながらのお膳で食する。8 月 28 日（土）の開催分については、「観察の森&かまどめしを炊こうスペシャル」として、栗東自然観察の森と共同で開催した。なお、事業の開催にあたっては、栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会の協力を得た。

() 学校との連携

小学校 3・4 年生の学習単元「くらしのうつりかわり」と連動して、博物館が主催する小学校対象の博物館教室「昔のくらし」では、栗東市のみならず、近隣市町においても、参加が定着してきた。

従来、この博物館教室では、「かまどの火吹き体験」「昔の明かり体験」など、いくつかのプログラムを組み合わせて実施しており、毎年度プログラムの改訂や新規プログラムの開発を行ってきた。平成 21 年度は、この新規プログラムの開発、策定に、栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会に関わってもらったこととし、博物館学芸員と共同で新たなプログラム「竿秤で重さを量ってみよう」を開発している。平成 22 年度には、新規のプログラムの開発は行わなかったものの、既存のプログラムの充実を図った。

交通手段の確保ができなかったために来館を見合わせた栗東市内の小学校が 1 校あったほか、博物館のスタッフが小学校に出向いての出前講座の実施を要望する声が複数聞かれた。来館しての受講の場合でも、児童数の多少や授業の進行具合によって、プログラムの内容に関する個別の要望が見られるため、出前講座の実施も含めて可能な限り小学校の要望に沿えるように工夫することが必要である。

博物館教室「昔のくらし」

平成 22 年

| | | | |
|--------|------------|----------|--------|
| 9月30日 | 守山市立吉身小学校 | 児童 104 名 | 引率 5 名 |
| 10月1日 | 栗東市立金勝小学校 | 児童 85 名 | 引率 3 名 |
| 10月5日 | 栗東市立大宝東小学校 | 児童 110 名 | 引率 4 名 |
| 10月5日 | 栗東市立治田東小学校 | 児童 73 名 | 引率 4 名 |
| 10月6日 | 野洲市立篠原小学校 | 児童 30 名 | 引率 1 名 |
| 10月7日 | 草津市立玉川小学校 | 児童 118 名 | 引率 3 名 |
| 10月7日 | 湖南市立水戸小学校 | 児童 65 名 | 引率 4 名 |
| 10月26日 | 栗東市立大宝西小学校 | 児童 62 名 | 引率 2 名 |
| 10月26日 | 大津市立比叡平小学校 | 児童 30 名 | 引率 3 名 |
| 10月29日 | 栗東市立南笠東小学校 | 児童 70 名 | 引率 4 名 |
| 11月2日 | 栗東市立葉山小学校 | 児童 72 名 | 引率 2 名 |
| 11月9日 | 野洲市立野洲小学校 | 児童 139 名 | 引率 4 名 |
| 11月9日 | 栗東市立大宝小学校 | 児童 107 名 | 引率 4 名 |

平成 23 年

| | | | |
|-------|-------------|----------|--------|
| 1月25日 | 大津市立富士見小学校 | 児童 100 名 | 引率 5 名 |
| 1月28日 | 大津市立逢坂小学校 | 児童 52 名 | 引率 4 名 |
| 2月2日 | 滋賀県立聾話学校小学部 | 児童 5 名 | 引率 2 名 |
| 2月10日 | 栗東市立治田小学校 | 児童 99 名 | 引率 3 名 |
| 2月18日 | 栗東市立葉山東小学校 | 児童 64 名 | 引率 3 名 |

合計 18 校 児童 1,385 名 引率 60 名

勤労体験学習(チャレンジウィーク事業)

中学生が自分の進路を選択できる力や、将来社会人として自立できる力を育てることを目的に、中学校 2 年生が職場体験を行う事業に協力し、実習先として受け入れを行なった。本年度は、中学生に展示補助、文書整理、体験学習補助などを体験してもらった。

| | |
|---------------------|------------|
| 6月1日(火)~6月4日(金) | 栗東市立栗東西中学校 |
| 10月26日(火)~10月29日(金) | 栗東市立葉山中学校 |
| 11月9日(火)~11月12日(金) | 栗東市立栗東中学校 |
| 2月1日(火)~2月4日(金) | 大津市立瀬田北中学校 |

合計 4 校 生徒 8 名

博物館実習生の受け入れ

大学での博物館学芸員資格取得課程の一環として行われる博物館実習の実習先として受け入れを行

った。本年度は、金工品および古文書の調査、取扱の実習や、通史展示「栗東の歴史と民俗」の展示替作業、市民協働事業「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」の開催に向けた準備作業などを行った。

実習期間：8月17日（火）～20日（金）4日間

同志社大学・佛教大学・滋賀県立大学・京都府立大学・京都光華女子大学・同志社女子大学
合計6大学 10名

（ ）情報の発信

平成21年度から栗東市財政再構築プログラムの一環として、企画展開催のための事業費の削減、展覧会等の博物館事業にかかる広報活動のための費用の縮減を実施している。そうした状況のなか、従来行ってきた博物館だより、栗東市広報紙「広報りっとう」、ホームページ、情報メール便（E-mail）による広報を引き続き行った。

自家製のポスター・チラシによる広報なども行った。ポスター掲出先としては、関係各機関に掲出依頼を行ったほか、周辺各市や観光協会が管理するJR駅構内のポスター掲出場所に掲出するなどの工夫を行なった。

また、資料調査などの成果については、年度末に紀要として公開した。

刊行物

「栗東歴史民俗博物館だより vol.32」（平成23年3月）

『栗東歴史民俗博物館紀要 第17号』（平成23年3月）

ホームページ等による広報活動

更新回数は、31回。アクセス件数は12,242回（前年度比92.5%）。アクセス件数はやや減少の傾向にある。また、情報メール便（E-mail）は年間で2回発行した。

栗東市財政再構築プログラムの実施など、広報にかかる経費を縮減している状況にあって、ホームページやE-mailによる広報活動は、外部への情報発信を行っていくうえで大きな役割を果たす。今後も、こうしたツールを利用した広報活動を充実させていくことが必要である。

ポスター・チラシ等による広報活動

展覧会等の博物館事業にかかる広報活動のための費用の縮減を実施している中で、ポスターおよびチラシについて自主印刷を行い、栗東市内の公共施設等の関係各機関での掲出・配布を依頼した。また、JR栗東駅および手原駅構内のポスター掲出場所を利用した。

ただし、市民協働事業「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」については、栗東市の「協働事業提案制度」に基づく当館市民学芸員の会と当館の協働事業「市民とともに作る地域の博物館～協働展覧会の開催～」として採択され、一定の事業費が確保できたことから、広報用のチラシ（A4版、両面カラー印刷）3,000枚を外部発注によって作成し、従前の広報先に加えて博物館周辺の栗東市立小学校や自治会への配布、JR草津駅、守山駅、野洲駅、近江八幡駅での配布・掲出を行った。

また、市民協働事業「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」の開催にあたって、滋賀県草津線複線化促進期成同盟会の後援が得られたことから、同会によってチラシ8,000枚の作成と、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県のJR主要駅と、近江鉄道の主要駅での配布が行われた。

4.市民参画推進事業

当館では、平成2年の開館以来、市民に活用される開かれた博物館づくりをひとつの使命として活動を続けてきた。平成15年には、市民が博物館の活動を理解する機会を設け、市民による自主的な学習の支援をとおして、市民が博物館活動に参画する道を開くことを目標に、市民参画推進事業として市民学芸員を募集し、その修了生によって平成20年度に栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会が立ち上げられている。市民学芸員の会は、博物館教室「昔の暮らし」や博物館講座「かまどめしを炊こう!!」の開催に参画するほか、平成22年度には博物館との協働事業として「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」を開催するなど、活動の幅を多様化させている。

加えて、平成22年度には、市民に広く音楽に親しんでいただくことを目的とする栗東音楽振興会(RISS)との共催事業として「ミュージアムロビーコンサート」を3回開催した。狛坂磨崖仏(レプリカ)を臨む博物館ロビーを会場に、気軽に立ち寄れるコンサートを開催することで、多くの方々に博物館への親しみを持っていただくことを目的とするものである。

生涯学習機関である博物館には、今後も、市民に活用される開かれた施設づくりを進めることが求められている。

(1) 栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会(通称:いがぐりの会)

博物館への市民参画を推進するために、栗東歴史民俗博物館では、平成15年度から平成19年度まで市民学芸員研修を実施した。当館の活動や栗東の歴史や文化に興味を持つ市民を募り、2年間かけて研修を行ったもので、その修了生によって結成されたのが栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会(通称:いがぐりの会)である。

市民学芸員の会では、自主活動による調査研究や、共同での展覧会の開催を目指しており、当館はそのサポートを行ってきた。とりわけ、平成22年度には、市民協働事業として「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」を開催した。この展覧会は、平成19年に旧国鉄に勤務されていた竹村定治さん(伊勢落在住)よりご寄贈いただいた、鉄道模型や鉄道関連資料からなる総点数3,000点余りを数える鉄道コレクションについて、市民学芸員の会と博物館学芸員が協力して調査・整理を進めてきた成果を公開するものであり、平成21年9月に募集のあった栗東市の「協働事業提案制度」に、当館市民学芸員の会と当館の協働事業「市民とともに作る地域の博物館～協働展覧会の開催～」として採択された事業の一環として実施したものである。市民から寄贈を受けた資料を、市民の手で多くの方に公開するという、これまでの当館にはなかったかたちの展覧会を開催することができ、大きな反響を得た。

また、博物館が主催する小学3・4年生対象の博物館教室「昔の暮らし」での体験指導、博物館講座「かまどめしを炊こう!!」での炊飯補助など、複数の博物館事業を市民学芸員の協力を得て実施した。

() 例会「東海道名所図会」輪読会

市民学芸員の会では、平成17年度より、月例会として『東海道名所図会』の輪読会を行っている。輪読会は博物館を会場として開催するが、年に1~2回程度の現地見学会も行っている。博物館ではこれらの活動のサポートを行った。

輪読会

平成22年

5月23日(日) 6月27日(日) 7月19日(日) 8月7日(土)
9月12日(日) 10月3日(日) 11月14日(日) 12月23日(祝)

平成23年

1月23日(日) 2月19日(土) 3月20日(日) 計11回、延113人参加

現地見学会

平成22年

4月18日(日) 東海道 石山～瀬田 12人参加
12月19日(日) 東海道 瀬田～草津 8人参加

平成23年

() 市民協働事業「市民とともに作る博物館～協働展覧会の開催～」

平成 19 年に旧国鉄に勤務されていた竹村定治さん(伊勢落在住)よりご寄贈いただいた、鉄道模型や鉄道関連資料からなる総点数 3,000 点余りを数える鉄道コレクション(竹村定治コレクション)について、市民学芸員の会と博物館学芸員が協力して調査・整理を進めてきた。平成 22 年度には、市民協働事業「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」として、竹村定治コレクションの中から、日本国内を走行していた鉄道の模型を中心に紹介する展覧会を開催した。

この展覧会の開催にあたっては、平成 21 年 9 月に募集のあった栗東市の「協働事業提案制度」に、当館市民学芸員の会と当館の協働事業「市民とともに作る地域の博物館～協働展覧会の開催～」が採択されており、展覧会の開催のほか、竹村定治コレクションの調査・整理を継続して行なった。

【事業概要】

| 実施時期 | 内 容 |
|------------------------------|--|
| 平成 22 年 4 月 7 日(水) | 資料調査 |
| 4 月 21 日(水) | 資料調査 |
| 5 月 19 日(水) | 資料調査 |
| 5 月 25 日(火) | 資料調査 |
| 6 月 9 日(水) | 広報活動(FM しが出演) |
| 6 月 10 日(木) | 展覧会内容打合わせ |
| 6 月 19 日(土) | 資料調査 |
| 6 月 26 日(土) | 鉄道模型運転会内容等打ち合わせ(じゃりちゃん鉄道砂野氏と) |
| 6 月 27 日(日) | 展覧会内容、展示作業、鉄道模型運転会概要打合わせ |
| 6 月 30 日(水) | 資料調査 |
| 7 月 3 日(土) | 展覧会リーフレット内容打合わせ、竹村久子氏・与市氏聞き書き調査 |
| 7 月 7 日(水) | 資料調査、リーフレット掲載資料撮影 |
| 7 月 8 日(木) | 資料調査、展覧会準備 |
| 7 月 13 日(火) | 資料整理棚作成作業 |
| 7 月 21 日(水) | 資料整理棚作成作業、滋賀県草津線複線化促進期成同盟会後援について打合わせ(後援名義の件、県内外駅設置チラシ内容の件) |
| 7 月 27 日(火) | 広報活動(市役所ロビー出張展示作業) |
| 8 月 | 展覧会リーフレット入稿、校正 |
| 8 月 5 日(木) | 資料調査、展覧会準備 |
| 8 月 7 日(土) | 資料整理棚作成作業 |
| 8 月 18 日(水) | 資料調査、展示作業 |
| 8 月 25 日(水) ～10 月 11 日(祝) | 滋賀県草津線複線化促進期成同盟会作成 チラシ、県内外設置 |
| 8 月 27 日(金) | 展示作業 |
| 8 月下旬～9 月上旬 | ポスター、リーフレット配布 |
| 9 月 10 日(金) | 市役所ロビー出張展示撤収作業、展示作業 |
| 9 月 10 日(金)～11 日(土) | 鉄道模型運転会設置作業 |
| 9 月 14 日(火)～17 日(金) | 展示作業、展覧会オープニングセレモニー準備 |

| | |
|----------------------|---------------------------------|
| 9月14日(火) | 広報活動(図書館ロビー出張展示作業、手原駅パネル展示作業) |
| 9月18日(土) | 展覧会開催(～10月11日) 展示オープニングセレモニー開催 |
| 9月18日(日)～20日(祝) | 鉄道模型運転会 |
| 9月26日(日) | 鉄道模型運転会 |
| 10月3日(日) | 鉄道模型運転会 |
| 10月5日(火) | 市民活動サポート講座出席 |
| 10月9日(土)～11日(祝) | 鉄道模型運転会 |
| 10月13日(水) ～15日(金) | 展示撤収作業 |
| 10月14日(火) | 図書館ロビー出張展示撤収作業、手原駅パネル展示撤収作業 |
| 12月1日(水) | 資料整理作業 |
| 12月8日(水) | 資料整理作業 |
| 平成23年1月13日(日) | 資料整理作業 |
| 1月27日(日) | 資料整理作業 |
| 2月8日(火) | 資料整理作業 |
| 2月19日(土) | 市民活動サポート講座(2月22日)に向けた打ち合わせ |
| 2月22日(火) | 「協働事業提案事業」成果報告会に向けた市民活動サポート講座出席 |
| 2月23日(水) | 資料整理作業 |
| 3月2日(水) | 資料整理作業 |
| 3月9日(水) | 「協働事業提案事業」成果報告会(3月12日)に向けた打ち合わせ |
| 3月12日(土) | 「協働事業提案事業」成果報告会 |
| 3月16日(水) | 資料整理作業 |

(2) RISSミュージアムロビーコンサート

市民に広く音楽に親しんでいただくことを目的とする栗東音楽振興会(RISS)と、生涯学習機関として市民に活用される開かれた博物館づくりを目指す栗東歴史民俗博物館の共催で、狛坂磨崖仏を臨む博物館ロビーを会場に、コンサートを開催した。

- 第1回目 11月3日 ミュージックベル演奏(栗東音楽振興会会員)
チェロ(松崎安里子)ギター(田中靖二)デュオ演奏
- 第2回目 12月23日 ミュージックベル演奏(栗東音楽振興会会員)
フルート演奏(中川彩)ハーブ演奏(大西伶奈)
- 第3回目 2月11日 ミュージックベル演奏(栗東音楽振興会会員)
リコーダーアンサンブル(織田優子、高島伸江、山下悟。いずれもリコーダーオーケストラ「デル・ソーレ大阪」メンバー)

いずれの回も、14時から1時間程度開催。

来場者数：第1回目 208名、第2回目 153名、第3回目 114名 合計 475名

5.資料の収集と保管・活用

(1) 資料の収集

() 購入資料

なし

() 受贈資料

| 資料名 | 員数 | 受入年月 | 寄贈者 | 住所 |
|--------------------------------|----|--------|-----|-----|
| 牛乳運搬容器 | 1点 | H22.8 | 個人 | 栗東市 |
| 国防婦人会治田村分会切手盆 | 1点 | | | |
| 手原 SL 公園 D51 403 蒸気機関車除幕記念プレート | 1点 | H22.8 | 個人 | 栗東市 |
| 軍事郵便葉書 | 3枚 | H22.10 | 個人 | 栗東市 |
| 感謝状(軍用飛行機献納金拠出につき) | 1通 | H22.10 | 個人 | 栗東市 |
| 大宝村青年団写真 | 1枚 | | | |
| 大宝小学校大正元年改元記念写真 | 1枚 | | | |
| 大宝村忠魂碑記念写真 | 1枚 | | | |
| 日吉神社例祭記念写真(昭和24年) | 1枚 | | | |
| 千人針 | 1本 | | | |
| 報国債権 | 3枚 | H23.3 | 個人 | 栗東市 |
| 戦時報国債権 | 5枚 | | | |
| 貯蓄債権 | 4枚 | | | |
| 戦時貯蓄債権 | 4枚 | | | |
| 封筒 | 1枚 | | | |
| 証券売却請求書 | 1枚 | | | |

(資料寄贈者ご芳名)

以下の方々より資料の寄贈を受けました。記して感謝申し上げます。(敬称略)

榎葉元治 加藤二三子 中西まさ子 山内良則 山本喜三雄

() 受託資料

| 資料名 | 員数 | 受入年月 | 寄託者 | 住所 |
|-----|----|-------|-----|-----|
| 梵鐘 | 1口 | H22.4 | 從縁寺 | 栗東市 |

() 移管資料

| 資料名 | 員数 | 受入年月 | 移管元 |
|-----------------------------|----|-------|-------------|
| 手原 SL 公園設置 D51 403 ナンバープレート | 1点 | H22.8 | 栗東市総務部政策秘書課 |

() 資料修復

国松桂溪「裸婦」

1点

油彩・麻布

大正12年(1923)

法量 H 53.0 cm × W 65.5 cm

(修復前の状況)

- ・ 画面全体にニス層が黄変し、埃等で汚れていた。
- ・ 左辺、右辺に擦傷が多々あり、剥落箇所周辺の絵具層はチョーキング状になり、浮いていた。
- ・ 過去に洗浄を施した形跡があり、薄塗りの絵具層は摩滅していた。
- ・ 薄細く、虚弱な木枠で、右上コーナーは破損し、釘で留められていた。
- ・ 本作品は本来フランスサイズ(15F)の大きさで、一度木枠から解き放たれ、日本で再度、日本サイズの木枠に張り直されていた。したがって、上下の寸法が小さくなり、下部の画面が1cm程側面に折り込まれていた。

- ・ 左辺中央、右辺中央に画面上からの突き傷があり、破れていた。
- ・ 右辺、上から 25 cmの箇所から、左上がりに約 25 cmの折れがあった。
- ・ 画面左上に画布の凹凸ができ波うっていた。また、全体に弛んでいた。

(修復後の状況)

- ・ 絵具層の剥離箇所、或いはその危険のある箇所に、膠水で接着した。
- ・ 四方から画布を均一に伸ばして、局所的な弛みや歪みを矯正し、本来の画報寸法に戻し、固定した。
- ・ 以後の施工中の養生のため、画面を和紙と糊で表打ちし、保護した。
- ・ オリジナルの画布が老朽し、作品をサポートしきれないので、新しい麻布と、接着剤（蜜蝋 + 樹脂）を用いて、裏打ちを施し、オリジナルの麻布を補強した。
- ・ 埃等の汚れを、旧ニスを経タノール、テレピンで除去した。
- ・ 本作品の面積、重量等に、適度な強度とフランスサイズの寸法の木枠を新調し、これに、作品を張り付けた。施工後の新寸法は、オリジナルの H 54.3 cm × W 64.4 cm × T 2.3 cmとなった。木枠の裏面には、楔を取り付けて、この楔の挿入度合いにより、画布の張力を調節できるようにした。木枠と楔には、防腐処置を施した。
- ・ 絵具層の剥落・欠失箇所に、充填剤（石膏 + 膠水、アクリルジェッツ）を埋めて、厚みを整えた。
- ・ 補填箇所に、水性絵具（グアッシュ）で補彩した。
- ・ 画面の色彩効果を蘇生させつことと、以後の画面の劣化を遅延させるために、透明なニスを着せた（ダブローヴァーニッシュ + プランマツタブロー、溶剤テレピン）
- ・ 額縁を新調し、これを装着した。

(施 工)

絵画保存修復 あとりゑ すぎうら 杉浦勉

() 受贈図書

受 贈 者 名

書 名

北 海 道

苫小牧市博物館

利尻町立博物館

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

北海道大学アイヌ・先住民研究センター

青 森 県

青森県立郷土館

青森県教育庁文化財保護課

岩 手 県

一 関 市 博 物 館

奥州市牛の博物館

北上市鬼の館

遠野市立博物館

宮 城 県

仙台市博物館

仙台市歴史民俗資料館

仙台市教育委員会

東北大学大学院文学研究科東洋・日本美術研究室

東北大学大学院文学研究科美術史学講座

東北福祉大学芹沢銈介美術館

秋 田 県

秋田県立博物館

福 島 県

福島県立博物館

大安場史跡公園

茨 城 県

小美玉市史料館

日立市郷土博物館

上高津貝塚ふるさと歴史の広場

石岡市教育委員会

かすみがうら市教育委員会

栃 木 県

栃木県立なす風土記の丘資料館

小山市立博物館

佐野市郷土博物館

館報第7号(平成20年度)

利尻町立博物館年報第30号

アイヌ - 美を求める心

アイヌ文化に関する研究の推進・連携等体制構築の検討事業報告書 CD-R 版

青森県立郷土館研究紀要 第34号、青森県立郷土館報 平成22(2010)年度版 (通巻37号)

世界遺産登録を目指す北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」 日本語 英語 フランス語 中国語 韓国語 版、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」 英語版ガイドブック

新一関市合併記念企画展 一関の文化財展 地域が守り伝えた重宝、光芒の再生 - 赤羽刀のきらめき -、一関市博物館研究報告 第13号

第19回企画展 厩の記憶 - なぜ猿はそこにいたのか -、牛のはくぶつかん 35

北上市立鬼の館だより第32号、特別展 能面展 - 幽玄の雅 - 遠野市立博物館リニューアル特別展 遠野物語の100年 - その誕生と評価

仙台市博物館年報第37号

資料館だより 42、調査報告書第28集 足元からみる民俗 18 失われた伝承 変容する伝承 新たなる伝承、仙台市歴史民俗資料館 資料集第8冊 収蔵資料目録()、仙台市歴史民俗資料館年報 2010、仙台の病にまつわる民間信仰「ガイドブック」

おばあちゃんの知恵袋～古くて新しい生活の知恵～

東国乃仏像二

美術史学第30号

東北福祉大学芹沢銈介美術工館年報

秋田県立博物館ニュース 151、秋田県立博物館年報平成22年

博物館だより第96～99号

まるさんかくしかく 第5～8号

小美玉市史料館 Vol.4

市民と博物館 91～94

土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第15号 - 2008(平成20)年度 -、第15回企画展 神の寺・山の寺・里の寺 - 古代仏教信仰の広がり -

石岡市埋蔵文化財調査報告書 市内遺跡調査報告書 第5集、石岡市埋蔵文化財調査報告書 下ノ宮遺跡

平成21年度 かすみがうら市内遺跡発掘調査報告書、千人引遺跡 - 田園空間整備事業東筑波地区4号農道整備に伴う発掘調査 -

栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第18号、那須のゆりがね - 産金の歴史 -

第56回企画展 桑摘み唄と小山の養蚕

第53回企画展 幕末の佐野、佐野城跡(春日岡城)を考える

| | |
|---------------------------|---|
| 那須塩原市那須野が原博物館 足利市教育委員会 | 那須野が原博物館紀要 第7号 堀だされた足利の歴史 - 平成 20 年度 足利市埋蔵文化財発掘調査パンフレット -、常見古墳群 足利を治めた首長たちの墓 |
| 鹿沼市教育委員会 | 鹿沼市史 普及版 かぬまの歴史 |
| 群馬県 | |
| 群馬県立歴史博物館 | 群馬県立歴史博物館紀要 第31号、群馬の肖像 - 政治王国ぐんまと上州人宰相 - |
| 埼玉県 | |
| 埼玉県立さきたま史跡の博物館 | 館報 5 |
| 埼玉県立川の博物館 | かわはく 37、38 |
| さいたま市立博物館 | さいたまの製糸、弥生時代のさいたま～2000年前の遺跡～ |
| さいたま市立博物館・さいたま市立浦和博物館 | さいたま市立博物館 研究紀要 第9集 |
| 川越市立博物館 | 川越市立博物館20年のあゆみ、知恵伊豆 信綱 - 松平信綱と川越藩政 - 川越市立博物館だより 第60～62号 |
| 戸田市立郷土博物館 | 戸田市立郷土博物館だより vol.38、豊かな恵みと生きものたち、鍼・脈・薬～戸田の医療史～、博物館・自然学習センターを活用した事例集 |
| 富士見市立水子貝塚資料館 | 平成22年度企画展 縄文人の装身具 |
| ふじみ野市立大井郷土資料館 | 資料館通信 第63号、特別展 川越街道と新河岸川 |
| 千葉県 | |
| 国立歴史民俗博物館 | 第6展示室「現代」開室記念 特集展示 アメリカに渡った日本人と戦争の時代、アジアの境界を越えて、企画展示 公爵家のアルバム、武士とはなにか |
| 千葉県立中央博物館大多喜城分館 | 平成22年度 武と華やぎの装い |
| 千葉県立加曾利貝塚博物館 | 貝塚博物館紀要 第37号 |
| 千葉県立房総のむら | 豊年満作！ 農耕図のナゾを解け！！ - 房総の四季耕作図と農耕絵図 - |
| 鎌ヶ谷市郷土資料館 | 鎌ヶ谷市郷土資料館年報 第23号、鎌ヶ谷市郷土資料館だより 第27号、28号、平成21年度鎌ヶ谷市郷土資料館企画展 鎌ヶ谷・昭和の日々（写真集） |
| 館山市立博物館 | 館山市立博物館報ミュージアム発見伝 84、千葉県無形文化財 唐棧織の世界 - 舶来の伝統工芸品 |
| 野田市郷土博物館 | 野田市郷土博物館市民会館 年報・紀要 第2号 2008年度、利根運河三十六景～運河をめぐる、ひと・もの・こと～ |
| 船橋市郷土資料館 | 資料館だより第94号、95号、くらしの道具 台所・住まいの道具編 |
| 松戸市立博物館 | 松戸市立博物館年報 第17号 - 平成21年度（2009）、まつどミュージアム 18、松戸市立博物館紀要 第17号、湯浅喜代治考古コレクション |
| 伊能忠敬記念館 | 伊能忠敬記念館年報 第11号、12号、平成22年度特別展 伊能忠敬関係資料～国宝への歩み～ |
| 鎌ヶ谷市教育委員会 | 鎌ヶ谷市史研究 第23号、鎌ヶ谷市史資料編（考古） |
| 東京都 | |
| 江戸東京博物館 | 江戸東京博物館 NEWSVol.69～72、東京都江戸東京博物館研究報告 第16号、東京都江戸東京博物館調査報告書 第22集 喜多川周之コレクション、第23集 酒井伴四郎日記 - 影印と翻刻 - |
| 大田区立郷土博物館 | ふしぎな縄文土器 |
| 品川区立品川歴史館 | 特別展 中原街道 |
| 世田谷区立郷土資料館 | 世田谷区立郷土資料館資料館だより 53、54、烏山寺町、世田谷叢書 宇津木家書簡集（二） |
| 豊島区立郷土資料館 | かたりべ 94～100、生活と文化 研究紀要 第19号、豊島区立郷土資料館調査報告書第21集 豊島の集団学童疎開資料集（10） 日記・書簡編、豊島区地域地図 第4集、豊島郡の村絵図 |

| | |
|-----------------------------|--|
| 中野区立歴史民俗資料館 府中市郷土の森博物館 | しいのき第 59 号、60 号 あるむぜお 92～94、府中市郷土の森博物館年報第 24 号、紀要 第 24 号、府中市郷土の森博物館ブックレット 13 お稲荷さんの世界 |
| 文化庁文化財部美術学芸課 | 「平成 21 年度美術館・博物館活動基盤整備支援事業」採択事業成果報告書、国宝・重要文化財(美術工芸品)の所有者のための手引き |
| 石橋財団ブリヂストン美術館 | 館報 58 号 |
| 東京家政大学博物館 | 東京家政大学博物館館報 53、54、東京家政大学博物館紀要第 15 集 |
| 國學院大學博物館学研究室 | 國學院大學博物館学紀要第 34 輯、國學院大學院友学芸員 3 |
| 國學院大學研究開発推進機構 学術資料館 | 國學院大學学術資料館 考古学資料館紀要 第 27 篇 |
| 國學院大學伝統文化リサーチセンター | 伝統文化のモノと心 第 4 号 |
| 国際仏教学大学院大学 | いとくら第 6 号 |
| 成城大学民俗学研究所 | 民俗学研究所ニュース 88～91、諸国叢書 第 24 輯 |
| 早稲田大学大学院 | 文学研究科紀要第 55 輯 第 1、2、3、4 分冊 |
| 早稲田大学考古学会 | 古代 第 122 号 |
| 早稲田大学史学会 | 史観第 162、163 冊 |
| お茶の水女子大学 | 博物館実習報告第 26 号 |
| 大正大学史学会 | 鴨台史学第 10 号 |
| 東京家政学院 | 子どもの誕生と日々の暮らし - 江戸時代から現代へ - |
| 財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター | 東京大空襲・戦災資料センターニュース 17、18 空襲・戦災を記録する会全国連絡会議 第 40 回東京大会 シンポジウム「空襲・戦災を記録する会 40 年の歴史と今後の展望」、第 4 回シンポジウム「帝国と空襲 - イギリス・台湾空襲を検証する」 報告書 |
| 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 | 世界遺産年報 2011 |
| 社団法人日本建築学会 | 日本建築学会計画系論文集 第 76 巻 第 659 号 |
| 一般財団法人家具の博物館 | 家具の博物館だより 58、59 |
| 平和のための博物館 | ミュージズ 25 平和のための博物館・市民ネットワーク通信 |
| 財団法人日本博物館協会 | 博物館研究 Vol.45 4～12、Vol.46 1～3、図書館・博物館における地域の知の拠点推進事業 博物館倫理規定に関する調査報告書 |
| NHK、NHKプロモーション、NHKプラネット中部 | 白洲正子 「神と仏、自然への祈り」 |
| 株式会社文化環境研究所 | 文環研レポート第 30、31 号、Cultivatu 36、37 |
| 株式会社帝国芸術新聞社 | 帝国芸術新聞 358 |
| 株式会社丹青研究所 | ミュージアムデーター 75 |
| 株式会社雄山閣 | 口語訳 雲根志 |
| 株式会社吉川弘文館 | 日本歴史第 744 号、749 号 |
| 歴史研究会 | 歴史研究 第 582 号 |
| 神奈川県 | |
| 神奈川県立金沢文庫 | 金沢文庫研究第 324、325 号 |
| 横浜市歴史博物館 | 横浜市歴史博物館紀要 Vol.14、横浜市歴史博物館調査研究報告 Vol.5、横浜市歴史博物館資料目録 第 18 集、横浜開港 150 周年記念 - part1 絵地図・浮世絵にみる 開港場・横浜の風景、横浜開港 150 周年記念 - part2 瓦版・絵巻にみる ペリー来航と横浜開港、横浜開港 150 周年記念 横浜市歴史博物館特別展 陸の道と海の道の交差点 - 江戸時代の神奈川、横浜市歴史博物館【開館 15 周年記念】特別展 古代の役所と地域社会 - 誕生！古代よこはまの郡家 - |
| 平塚市博物館 | 平塚市博物館年報 33、平塚市博物館研究報告 33 自然と文化、2010 年度 夏期特別展 市民が探る平塚空襲 - 65 年目の検証 - 、山と海を結ぶ道、開運 招福 相州だるま |
| 藤沢市教育委員会 | 藤沢市文化財調査報告書 第 45 集、藤沢市社寺建築物調査報告書 1 寺院編 |

神奈川大学経済学会
鎌倉文化研究会
財団法人大倉精神文化研究所
財団法人馬事文化財団
財団法人馬事文化財団馬の博物館

商経論叢 第45巻 第4号
鎌倉 109、110
大倉山論集第56輯
平成21年度(2009)馬事文化財団年報通刊第31号
馬の博物館 研究紀要 第17号、馬のコイン - 繁栄のシンボル -、特別展
戦国の城と馬、馬の博物館所蔵品図録 中川コレクション コイン編

新潟県

柏崎市立博物館
柏崎市立博物館・柏崎ふるさと人物館

柏崎市立博物館館報 第24号
柏崎市立博物館調査報告書第5集 平成22年度夏季特別展 文化財たちの
「復興」 - 博物館がみた新潟県中越沖地震 -

十日町市博物館

平成22年度 夏季特別展 壊されるモノ - 土偶・石棒・石皿からみた縄文
の祭

長岡市

長岡市史双書 49 新潟県中越大震災と史料保存(2) 被災地域が地域
を語る 刈羽郡桐沢村青柳家文書

長岡市立中央図書館
十日町市教育委員会

長岡あーかいぶす第9、10号
十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第41集 真菰田遺跡発掘調査報告書
貝野大道下遺跡発掘調査報告書、十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第42
集 平成21年度十日町市内遺跡試掘・確認調査報告書

石川県

石川県立美術館
石川県立歴史博物館
石川県能登島ガラス美術館

石川県立美術館だより第319~329号
れきはく 93~98、紀要第19号
石川県能登島ガラス美術館だより 第16号

富山県

富山県立山博物館
富山市郷土博物館
富山市教育委員会埋蔵文化財センター

年報第19号、研究紀要 Vol.17、立山・富士山・白山みつの山めぐり
富山市郷土博物館報、秀吉 越中出陣 - 「佐々攻め」と富山城
富山市教育委員会埋蔵文化財センター所報 11 富山市の遺跡物語、越中と美濃を
結ぶ考古展 交流のはじまり 旧石器時代~古代 記念講演記録
とやま発掘だより - 平成21年度発掘調査速報 -

財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所

福井県

福井県立歴史博物館
福井県立美術館
福井県立若狭歴史民俗資料館
福井県立恐竜博物館
敦賀市立博物館

赤 - 古代の赤・江戸の紅花 -
福井県立美術館年報 平成21年度
館報 平成21年度
福井県立恐竜博物館年報 第10号、福井県立恐竜博物館紀要 2010
平成21年度 研究紀要 第24号、特別展 近世敦賀の幕開け~吉継の治めた湊町~

若狭町文化財室

若狭町文化財室年報第2、3巻

長野県

飯田市美術館

飯田市美術館ニューステラス Vol.84~86 飯田市美術館研究紀要第
20号(2010年)、信州飯田領主 堀侯 - 日本を動かした郷土の外様大名 -、
日夏耿之介コレクション目録 - 書簡編 -、獅子舞 - コーラシアから伊那谷
へ -

飯田市美術館・飯田市上郷考古博物館
茅野市美術館

飯田市美術館・飯田市上郷考古博物館年報第19号(平成20年度)
茅野市美術館年報 2000 - 2007、研究紀要第3号、茅野市美術館収蔵展 - ココ
ニイル悦ビ -

松本市立博物館

あなたと博物館 168~173、特別展 学校のたから百景

岐阜県

岐阜県博物館
岐阜市歴史博物館

岐阜県博物館報第33号、岐阜県博物館調査研究報告第31号
博物館だより 74~76、岐阜市歴史博物館年報 24、洛中洛外図に描かれた
世界 - 江戸文化創成の地・京都へのあこがれ -

各務原市歴史民俗資料館 資料館だより第 28 号、各務原市資料調査報告書 33 号 歴史をたずねて 中山道と新加納
 みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム MUSEUMNEWSVol.58～61、みのかも文化の森 活用の手引き・活用実践集 平成 21 年度版、なつやすみ歴史探検 - 考古学にふれる - 展、木曾川を渡る 中山道と太田の渡し
 美濃加茂市民ミュージアム・早稲田大学 美濃加茂ふるさとファイル 15 美濃の白隠
 内藤記念くすり博物館 ぐすり博物館だより Vol.63、64、綺麗な妙薬～健やかな美と薬を求めて～
 岐阜大学 岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録(3) 美濃国武儀郡下有知村 山田家文書目録
 岐阜大学地域科学部 地域資料・情報センター 地域資料通信第 2 号
 岐阜県「地域発!ふるさと学習」研究協議会 地域発!ふるさと学習プログラムに対する大人の意識変容要因に関する実証的研究

静岡県

静岡県立美術館・千葉市美術館 伊藤若冲 アナザーワールド
 静岡市立芹沢銈介美術館 芹沢銈介の作品
 浜松市博物館 浜松市博物館報第 22 号、浜松市博物館だより Vol.29-1～4、浜松市博物館情報第 217～228 号、浜松の歴史、浜松オートバイ列伝
 富士市立博物館 平成 21 年度館報、博物館だより 56、57 号、六所家総合調査だより第 4～8 号、100 年前の世界が見える、日本が見える - 六所家旧蔵絵葉書コレクション -、富士山縁起の世界 - 赫夜姫・愛鷹・犬飼い -
 沼津市歴史民俗資料館 沼津市歴史民俗資料館だより Vol.35 1～3
 沼津市歴史民俗資料館・沼津市明治史料館 沼津市博物館紀要 34
 焼津市歴史民俗資料館 焼津市歴史民俗資料館年報 24、焼津市埋蔵文化財発掘調査報告書 19 大覚寺遺跡(第 17 地点)
 沼津市教育委員会 沼津市文化財調査報告書第 78 集 西洞遺跡 c・d 区埋蔵文化財発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 79 集 千本遺跡発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 80 集 稲荷林遺跡発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 81 集 尾上イラウネ北遺跡(第 2 次)発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 82 集 市道 0230 号線関連遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 83 集 三芳町遺跡発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 84 集 八兵衛洞遺跡発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 85 集 上ノ段遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 86 集 埋蔵文化財発掘調査報告書 4、沼津市文化財調査報告書第 87 集 埋蔵文化財発掘調査報告書 5、沼津市文化財調査報告書第 88 集 史跡長浜城跡発掘調査概報、沼津市文化財調査報告書第 91 集 西ノ久保遺跡発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 92 集 八兵衛屋敷遺跡発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 93 集 尾上第 2 遺跡発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 95 集 稲荷林遺跡(第 2 次)発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 96 集 清水柳北遺跡(第 3 次)発掘調査報告書、沼津市文化財調査報告書第 98 集 尾寺遺跡(第 2 次)・清水柳北遺跡(第 2 次)発掘調査報告書

愛知県

愛知県陶磁資料館 館報 第 17 号
 名古屋市博物館 名古屋市博物館だより Vol.193～196
 安城市歴史博物館 博物館ニュース 76～79、安城市歴史博物館研究紀要 17、村絵図 ～安城市歴史博物館～、企画展 風まかせ 東海道中 - 江戸時代の旅人と街道 -、親鸞聖人像の原点 安城御影、描かれた農 四季耕作図
 一宮市博物館 一宮市博物館だより 45、46 企画展 お釈迦さまのものがたり～涅槃図から読本・草双紙まで、解説書 茶の湯の浸透 - 茶進上仕りたく -

| | |
|-----------------------|---|
| 知立市歴史民俗資料館 | 知立市歴史民俗資料館年報平成 21 年度、刀と刀装具の魅力、写真でたどる知立 |
| 半田市立博物館 | 半田市立博物館年報平成 21 年度 |
| 瀬戸蔵ミュージアム | 加藤善治 |
| 熱田神宮宝物館 | 熱田神宮宝物館だより 175～180、小袖繚乱 |
| 安城市教育委員会 | 安城市歴史博物館・安城市民ギャラリー・安城市埋蔵文化財センター・丈山苑年報第 19 号(平成 21 年) |
| 徳川美術館 | 徳川美術館だより 葵第 74～77 号、家康のまつり - 名古屋東照宮祭礼 - |
| 南山大学人類学博物館 | 南山大学人類博物館オープンリサーチセンター 2009 年度年次報告書、南山大学人類博物館オープンリサーチセンター 2009 年度年次報告書 付編 研究会・シンポジウム資料 |
| 愛知大学 | 博物館学芸員課程年報第 14、15 号 |
| 名古屋大学大学院文学研究科美学美術史研究室 | 美学美術史研究論集第 24 号 |
| 三重県 | |
| 斎宮歴史博物館 | 斎宮歴史博物館だより 65、斎宮跡発掘資料選 |
| 亀山市歴史博物館 | 第八回企画展こどもも！おとなも！調べて納得博物館 亀山にのこる子供が書いた文字 大人が書いた文字、第 17 回テーマ展示第 6 回文化財調査速報展示 胸が土器土器～考古学はおもしろい～ |
| 桑名市博物館 | 桑名市博物館年報平成 21 年度号、桑名市博物館紀要第八号、特別企画展桑名諸戸家のうつわ |
| 四日市市立博物館 | 知られざる四日市の面影 |
| 朝日町歴史博物館 | 平成 22 年度企画展 - 有節萬古の技術 - |
| 名張市 | 名張市史資料編考古 CD-ROM 版 |
| 明和町斎宮跡課 | 史跡 斎宮跡 |
| 神宮徴古館 | 昭和から平成へ未来へつなぐ伊勢神宮の美 - 文化功労者・写真家、渡辺義雄が追いつけた三度の式年遷宮 - |
| 神宮徴古館農業館 | 神宮名品図録 |
| 神宮美術館 | 神宮奉納美術 - 心とかたち - 、 |
| 滋賀県 | |
| 滋賀県立琵琶湖文化館 | 研究紀要第 24 号 |
| 滋賀県立安土城考古博物館 | 平成 21 年度年報、紀要第 18 号、おおてみち第 59～62 号、平成 22 年度春季特別展 導水施設と埴輪群像から見えてくるもの～古墳時代の王権とまつり～、戦国の琵琶湖 琵琶湖を制する者は天下を制す～近江の城の物語～、戦国の琵琶湖 近江の城の物語、室町最後の将軍 - 足利義昭と織田信長 - 、近江の観音像と西国三十三所巡礼 |
| 滋賀県立琵琶湖博物館 | 琵琶湖博物館研究調査報告 25 号 日本中世魚介類消費の研究 - 一五世紀山科家の日記から - |
| 滋賀県立陶芸の森 | REVIEW 70、71、平成 21 年度滋賀県立陶芸の森年報 |
| 大津市歴史博物館 | 大津歴博だより 79～82 |
| 草津宿街道交流館 | 草津市立草津宿街道交流館春季テーマ展 草津川桜植樹 100 周年 京・大阪・近江の花見 |
| 長浜城歴史博物館 | 博物館だより 35、竹生島宝蔵寺の歴史と寺宝 - 武将たちの信仰と伝来の絵画・書跡 - 、特別陳列 下坂鍛冶と越前康継、石田三成生誕 450 年記念 石田三成と湖北、湖北真宗の至宝と文化 |
| 彦根城博物館 | 彦根城博物館研究紀要第 21 号、彦根城博物館年報 平成 21 年度、彦根城博物館だより 89～92、戦国 激動の佐和山城、五百羅漢のお寺 - 天寧寺の歴史と美術 - 、よみがえる関ヶ原合戦 - 関ヶ原合戦図を読む |
| 伊吹山文化資料館 | 伊吹山文化資料館年報 12 - 平成 21 年度の活動 - |
| 柏原宿歴史館 | 鳥から見える世界 鳥瞰図 |

| | |
|-------------------------------------|---|
| 野洲市歴史民俗博物館（銅鐸博物館） | 野洲市歴史民俗博物館（銅鐸博物館）研究紀要第 14 号、テーマ展近江八景と名所図 |
| 東近江市近江商人博物館 愛荘町立愛知川びんてまり館・愛知川図書館 | 語り継がれる近江商人 愛知川図書館テーマ展示 総集編 6「農村」愛荘町と生活改善運動、ようこそ紙芝居の世界へ |
| 滋 賀 県 | 滋賀県民戦争体験談集シリーズ 記憶の湖 第九巻 中国・朝鮮半島での県民の体験 |
| 滋賀県教育委員会 | 平成 20 年度滋賀県文化財年報、織豊期城郭基礎調査報告書 4、研究紀要第 14 号、近江湖物語 4 琵琶湖を制する者、埋蔵文化財活用ブックレット 2（近江の山寺 2）霊仙山と松尾寺の文化財 |
| 滋賀県草津線複線化促進期成同盟会 草津市教育委員会 | 草津線全線開通 120 周年・全線電化 30 周年 記念誌 草津線の魅力 草津市文化財調査報告書 68 野路岡田遺跡発掘調査報告書 その 1、2、3、草津市文化財調査報告書第 78 大定木遺跡発掘調査報告書（平成 21 年度調査）、草津市文化財調査報告書第 79 門ヶ町遺跡発掘調査報告書（平成 20 年度調査）、草津市文化財調査報告書第 80 市内遺跡群分布調査報告書（平成 17～21 年度調査）、草津市文化財調査報告書 82 草津宿場町遺跡（第 5 次）発掘調査報告書、草津市文化財調査報告書 81 草津市文草津市文化財調査報告書 83 草津宿場町遺跡（第 7 次）発掘調査報告書、化財年報 17 - 平成 20（2008）年度事業年報 -、草津市文化財調査報告書第 84 青地城跡発掘調査報告書、草津市文化財調査報告書 85 中畑遺跡発掘調査報告書（平成 21 年度・平成 22 年度調査分）、史跡 草津宿本陣（物入 2・乾門）保存修理工事報告書、芦浦観音寺館跡総合調査報告書（補遺） |
| 甲賀市教育委員会 | 水口藩加藤家文書調査報告書、甲賀市史編纂叢書 第六集 近江国水口藩加藤家家譜 |
| 高島市教育委員会 | 高島市文化財調査報告書第 12 集 西万木遺跡 滋賀県高島市安曇川町西万木、高島市文化財調査報告書第 13 集 滋賀県高島市朽木村井所在 池の沢遺跡発掘調査報告書 - 庭園遺構の調査 -、高島市文化財調査報告書第 14 集 滋賀県高島市安曇川町田中所在 田中 36 号墳発掘調査報告書、高島市文化財調査報告書第 15 集 滋賀県高島市今津町 弘布野南海道遺跡 - 南檜地区の調査 - |
| 長浜市教育委員会 | 長浜市文化財ニュース層第 194～203 号、平成 20・21 年度長浜市文化財保護年報、琵琶湖の神秘 葛籠尾崎湖底遺跡、琵琶湖の縄文時代へタイムスリップ 葛籠尾崎湖底遺跡のふしぎ、小谷城戦略の前線基地 虎備前山城、戦国大名 浅井氏の居城 史跡 小谷城跡、史跡 小谷城跡案内図、長浜市埋蔵文化財調査資料第 94 集 小規模開発関連発掘調査報告書、長浜市埋蔵文化財調査資料第 96 集 詳細遺跡分布調査 3 横山丘陵遺跡群確認調査報告書、長浜市埋蔵文化財調査資料第 98 集 北郷里小遺跡 第 20 次調査報告書、長浜市埋蔵文化財調査資料第 101 集 大塚遺跡 第 37 次調査報告書、小規模開発関連発掘調査報告書 |
| 東近江市教育委員会 | 東近江市史 愛東の歴史 第 3 巻本文編、東近江市史 愛東の歴史 ダイジェスト版、百濟寺文書調査報告書、東近江市埋蔵文化財調査報告書第 9 集 高野遺跡・高野館遺跡、東近江市埋蔵文化財調査報告書 第 13 集中沢遺跡（19 次）、東近江市埋蔵文化財調査報告書 第 15 集 地蔵遺跡（1 次）五個荘堂田遺跡（10 次）猪子遺跡（1-2 次）斗西遺跡（25 次）千里遺跡（3 次）、東近江市埋蔵文化財調査報告書 第 14 集 平成 21 年度市内遺跡の調査、能登川地区民俗調査報告書 祭礼・年中行事・地域調査、八日市地区の遺跡探検、東近江市の遺跡シリーズ 1 雪野山古墳、東近江市の遺跡シリーズ 1 八幡山古墳群、能登川の遺跡探検ものがたり |
| 米原市教育委員会 | 米原市文化財ニュース佐加太 第 30～32 号、市史編さんだより第 15 号、米 |

| | |
|---------------------------------|---|
| | 原市遺跡リーフレット 23 市指定史跡 番の面遺跡、米原市遺跡リーフレット 24 古代寺院 法勝寺跡、米原市遺跡リーフレット 25 古代寺院 三大寺跡、米原市遺跡リーフレット 26 山岳寺院 松尾寺跡、米原市遺跡リーフレット 27 国指定史跡 鎌刃城跡、米原市遺跡リーフレット 28 市指定史跡 太尾山城跡、米原市遺跡リーフレット 29 平地居館 箕浦城跡、米原市遺跡リーフレット 30 江濃境目の城 長比城跡、京極家激闘譜 - 京極氏の遺跡、信仰、文化 - 、伊吹山の山岳寺院 - 太平寺跡・弥高寺跡・長尾寺跡 - 、伊吹山奉納太鼓踊り、米原市遺跡散策マップ 4、藤川宿の「まちなみ」マップ、春照宿の「町並み」探検マップ |
| 守山市立埋蔵文化財センター | 乙貞第 169、170 号 |
| 野洲市教育委員会 | 平成 21 年度野洲市内遺跡発掘調査年報、平成 22 年度野洲市内遺跡発掘調査年報、史跡大岩山古墳群 亀塚古墳調査整備報告書 - 野洲市富波字亀塚 - |
| 観峰館 | 観峰館紀要第 6 号 |
| 膳所焼美術館 | 膳所焼美術館だより第 21 号 |
| 財団法人滋賀県文化財保護協会 | 紀要第 23 号、甲賀郡中惣の世界 - 神と城そして武士 - 、琵琶湖の港と船、関津遺跡 - 近江の南の玄関口 - 、シリーズ近江の文化財 004 縄文人のエコロジーとエコノミー琵琶湖の貝塚・粟津湖底遺跡が語る秘密、発掘調査成果展 レトロ・レトロの展覧会 2010 |
| 財団法人滋賀県文化振興事業団 | 湖国と文化 131 ~ 134 号 |
| 財団法人栗東市文化体育振興事業団 | 栗東市埋蔵文化財調査報告 2008(平成 20)年度年報、発掘調査速報展 2009、栗東市文化財調査報告書 20 冊 林遺跡発掘調査報告書、栗東市文化財調査報告書 21 冊 辻遺跡発掘調査報告書、栗東市文化財調査報告書 22 冊 手原遺跡発掘調査報告書、栗東市文化財調査報告書 23 冊 中沢遺跡発掘調査報告書、栗東市文化財調査報告書 24 冊 手原遺跡発掘調査報告書、栗東市文化財調査報告書 25 冊 上鉤遺跡発掘調査報告書、栗東市文化財調査報告書 26 冊 林遺跡発掘調査報告書、栗東市文化財調査報告書 27 冊 霊仙寺遺跡発掘調査報告書 |
| 財団法人守山野洲市民交流プラザライズヴィル都賀山 | つがやま市民教養文化講座 近江能文化登伝統 |
| 社団法人滋賀県建設業協会 | 夢けんせつ 通巻第 600、611 号 |
| 社団法人栗東青年会議所 | 35 周年記念誌 |
| コミュニティセンター 治田東 | 女たちが歩んだ明治・大正・昭和 ~ 平成の子どもたちへ ~ |
| 近江歴史回廊倶楽部 | 近江歴史回廊倶楽部会報第 12 巻 1 ~ 4 号 |
| 滋賀県立大学人間文化学部 | 滋賀県立大学人間文化部研究報告 27 号 |
| 滋賀大学経済学部付属史料館 | 古文書と絵画にみる湖辺の暮らし |
| 成安造形大学附属近江学研究所 | 近江学フォーラム会報 近江通信紙 Vol.03、04 |
| NPO 法人三方よし研究所 | 三方よし第 35 号 |
| 園城寺 | 季刊三井寺 Vol.150 ~ 154 |
| 高島市新地地域のコン群落および針江大川流域の景観保存活用委員会 | 「高島市針江・霜降の水辺景観」保存活用事業報告書 |
| 愍念寺史編集委員会 | 愍念寺の歴史 |
| ひるた曳山保存会 | 比留田の曳山、『比留田の曳山』調査報告書 |
| 個人 | 山内きみよ水墨画展 |
| 個人 | 草津線全線開通 120 周年 草津線の昔と今 記念出版 |
| 京都府 | |
| 京都国立博物館 | 京都国立博物館学叢第 32 号 |
| 京都府京都文化博物館 | 京都府京都文化博物館研究紀要「朱雀」第 22 集、京都文化博物館年報 2009 (平成 21 年度) |
| 京都府立丹後郷土資料館 | 大丹波展 - 豪族たちの栄華 - |
| 京都府立山城郷土資料館 | 今造る 久邇の都は 平城の北・恭仁宮 - 木津川流域の奈良時代 - |
| 京都市考古資料館 | 京都市考古資料館年報 平成 19・20 年度、リーフレット京都 231 発掘 |

ニュース 82 「本能寺の変」を調査する、リーフレット京都 232 考古
 アラカルト 43 特別展示 紫式部の生きた京都、リーフレット京都 233
 発掘ニュース 83 大政大臣・左右大臣の座、リーフレット京都 234 発
 掘ニュース 84 天子の宴会之处、リーフレット京都 235 発掘ニュース
 85 縄文時代の村、リーフレット京都 236 発掘ニュース 86 上里遺跡
 で見つかった炭化米と豆、リーフレット京都 237 発掘ニュース 87 も
 う一つの堀川、リーフレット京都 238 遺跡を訪ねて 11 源氏物語を歩
 く、リーフレット京都 239 考古アラカルト 44 京都市伏見水垂収蔵庫
 - 展示案内 -、リーフレット京都 240 考古アラカルト 45 源氏も物語
 の秘色とあをし、リーフレット京都 241 発掘ニュース 88 いにリーフ
 レット京都 244 考古アラカルト 46 出前授業いたしますしえの小川 -
 加茂御祖神社の調査 -、リーフレット京都 242 発掘ニュース 89 発掘
 成果をふりかえって 2008、リーフレット京都 243 土器・瓦 27 地中の
 京焼、リーフレット京都 245 アラカルト 47 特別展示 京焼の萌芽、
 リーフレット京都 246 生産・技術 9 軟質施陶器の技術を調べる - 色絵
 のルーツ -、リーフレット京都 247 生産・技術 10 硬質施陶器の技術
 を調べる - 押小路焼 -、リーフレット京都 248 発掘ニュース 90 中世
 の酒屋と墓、リーフレット京都 249 発掘ニュース 91 堀河院の二つの
 池 - 里内裏の池 -、リーフレット京都 250 発掘ニュース 92、リーフ
 レット京都 251 考古アラカルト 48 特別展示 京都 秀吉の時代、リー
 フレット京都 252 考古アラカルト 49 京都市考古資料館開館 30 周年 -
 最近の試みから -、リーフレット京都 253 仏教・寺院 10 北山鹿苑寺
 方丈の地中には、リーフレット京都 254 発掘ニュース 93 発掘成果を
 ふりかえって 2009

京都市美術館
 宇治市歴史資料館
 亀岡市文化資料館

五里ごり館(城陽市歴史民俗資料館)

南丹市立文化博物館

大山崎町歴史資料館
 宇治市
 南丹市教育委員会

財団法人京都市埋蔵文化財研究所
 財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
 財団法人霊山顕彰会
 高麗美術館
 大谷大学博物館
 華頂短期大学博物館
 京都市立芸術大学
 京都市立芸術大学芸術資料館
 京都女子大学
 京都大学総合博物館

親鸞展 生涯とゆかりの名宝
 宇治市歴史資料館年報 2008、収蔵資料調査報告書 12、走れ!! おとぎ電車
 第 48 回企画展 心学開講 280 年記念 今よみがえる石田梅岩の教え、第 26
 回特別展 光秀 亀山城 城下町
 五里ごり館通信創刊号、五里ごり館通信第 2 号、城陽市歴史民俗資料館展示
 図録 43 藍 生活の中に息づくものたち、Japanese Design & culture 商
 いの顔
 南丹市立文化博物館だより第 5、6 号、鉄道～果てしなく続く路～平成 21 年
 度夏季企画展 映像文化の足跡～光学玩具から映画まで～、秋季企画展 胡
 麻日吉神社の馬かけ神事
 大山崎町歴史資料館館報、幕末・維新期の大山崎
 宇治でつづる夢のつづき
 八木町史編さん事業歴史資料調査報告書 第 3 集 摩気神社蔵小畠文書調査
 報告書
 平成 19 年度財団法人京都市埋蔵文化財研究所年報
 京都府埋蔵文化財情報第 111～113 号
 グラフ維新の道、維新の道 137～141
 高麗美術館館報第 86～88 号
 親鸞 その人と生涯
 華頂短期大学博物館学研究 第 17 号
 京都日本画の誕生
 京都市立芸術大学芸術資料館年報 2009
 博物館学年報第 16 号
 京都大学総合博物館年報平成 21 年度、京都「御土居絵図」がいざなう地域
 の身近な歴史探検

| | |
|--|---|
| 京都府立大学文学部歴史学科 同志社大学考古学研究室 同志社大学博物館学芸員課程 同志社大学歴史資料館 | 八幡地域の古文書と石清水八幡宮の絵図 - 地域文化遺産の情報化 - 同志社大学考古学シリーズ5 考古学は何を語るか 博物館年報第41号 同志社大学歴史博物館館報第13号、同志社大学歴史資料館調査研究報告書 第9集南山城の古代寺院 |
| 花園大学史学会 佛教大学宗教文化ミュージアム 佛教大学文学部鷹陵史学会 立命館大学国際平和ミュージアム | 花園史学第31号 佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要第6号 鷹陵史学第36号 立命館大学国際平和ミュージアムだより Vol.18-1~3、立命館平和研究 - 立 命館大学国際平和ミュージアム紀要 - |
| 立命館大学文学部 浄土宗教学院 浄土宗教学局 総本山知恩院布教師会 宗教法人平等院 本願寺史料研究所 一般社団法人国宝修理装演師連盟 | 学芸員 NewsLetter 第23号 佛教文化研究第54号 佛教論叢第54号 浄土宗学研究、法然上人のお言葉 - 元祖大師御法語 - 鳳翔学叢第6輯 本願寺史料研究所報40号、増補改訂本願寺史 第15回定期研修会報告集 設立50周年記念特別講演 伝統と革新を巡る多 様な視点 |
| 京都美学美術史学研究会 株式会社思文閣 大阪府 大阪府立狭山池博物館 大阪府立近つ飛鳥博物館 | 京都美学美術史学第9号 鴨東通信春 77、木田安彦の世界 古代西除川沿いの集落景観 博物館だよりアスカディア・古墳の森 Vol.32、33、大阪近つ飛鳥博物館館 報13、継体大王の時代 百舌鳥・古市古墳群の終焉と新時代の幕開け、鉄と ヤマト王権 邪馬台国から百舌鳥・古市古墳群の時代へ、歴史発掘 おおさ か - 大阪府発掘調査最新情報 - |
| 大阪府立弥生文化博物館 大阪府立弥生文化博物館・九州国立博物館 大阪市立美術館 住まいのミュージアム大阪くらしの今昔館 大阪歴史博物館 | 平成22年度夏季特別展図録「MASK - 仮面の考古学 - 」 邪馬台国 九州と近畿 大阪市立美術館だより美をつくし Vol.173、174 研究紀要・館報8、大阪くらしの今昔館 news Vol.35~38 大阪歴史博物館研究紀要第7・8号、大阪歴史博物館年報平成21年度、なに わ歴博カレンダー 37 |
| 大阪城天守閣 | 大坂城天守閣紀要第38号、テ - マ展 地中からの遺産 - 大阪城天守閣収蔵 考古資料展 -、大阪城天守閣所蔵 南木ムクヨン総目録五 版画・印刷物・第 四分冊(地図・絵図・凡版)、川崎東照宮関係記録(一) - 東光院荻の寺所 蔵文書 -、秀吉への挑戦、瓦版にみる幕末大阪の事件史・災害史 |
| 池田市立歴史民俗資料館 歴史館いずみさの 堺市博物館 | 古墳時代の猪名川流域 - 猪名川流域に投影された畿内政権の動静 - 歴史通信いずみさの Vol.22 堺市博物館報第29号、よみがえる中世都市 堺 - 発掘調査の成果と出土品 - |
| 吹田市立博物館 | すいはく博物館だより 41~44、災害から地域遺産をみなおす - 吉志部神社 の復興 -、わかりやすい吹田の歴史 本文編、吹田市制施行70年記念事業 古代攝津国考 - 難波宮と吹田 - |
| 東大阪市立郷土博物館 八尾市立歴史民俗資料館 | 陶磁器が語る 東大阪と他地域との交流 館報 平成21年度、研究紀要 第21号、平成22年度企画展 民具に学ば う! エコな知恵 運ぶ |
| 太子町立竹内街道歴史資料館 泉大津市教育委員会 大阪狭山市役所 | 館報第16号 おほつ研究 Vol.7 大阪狭山市史第3巻史料編 近世 |

- 大阪狭山市教育委員会
貝塚市教育委員会
岸和田市教育委員会
島本町教育委員会
大阪大谷大学博物館
大阪商業大学商業史博物館
大阪商業大学比較地域研究所
関西大学博物館
財団法人枚方市文化財研究調査会
関西広域機構・関西元気文化圏推進協議会
兵庫県
兵庫県立歴史博物館
兵庫県立考古博物館
神戸市立博物館
神戸市立小磯記念美術館
明石市立文化博物館
小野市立好古館
西宮市立郷土資料館
姫路市立美術館
姫路市立城郭研究室
姫路市書写の里・美術工芸館
姫路市埋蔵文化財センター
福崎町立神崎郡歴史民俗資料館
財団法人竹中大工道具館
尼崎教育委員会
加東市教育委員会
多可町教育委員会
関西学院大学社会学部古川研究室
神戸大学美術史研究会
奈良県
奈良県立美術館
奈良県立民俗博物館
- 大阪狭山市文化財報告書 37 大阪狭山市内遺跡群 発掘調査概要報告書 20
貝塚市文化財年報 8 - 平成 21 年度 - 、貝塚市の 70 年編纂だより WeaveVol.1、
要家文書に見る岸和田藩領の村とその生活
熊沢友雄日記(3) 明治十一(一八七八)年~明治十四年、岸和田城と岡部
家
島本町文化財調査報告書
博物館だより 107、108
大阪商業大学商業史博物館紀要第 11 号
地域と社会第 13 号
関西大学博物館紀要第 16 号、阡陵 60~62、平成 22 年度関西大学博物館企
画展 はくぶつかんの海外資料~モノめぐり世界旅行~
枚方市文化財調査報告第 61 集 九頭神遺跡 (本文編)、(図版編)
平成 22 年度関西文化の日実施報告
歴博ニュース 94~97、兵庫県立歴史博物館紀要「塵」第 21 号、図説 兵
庫県立歴史博物館 京都国際マンガミュージアム 妖怪画の系譜
兵庫県立考古博物館ニュース Vol.6、7
神戸市立博物館年報 25、神戸市立博物館研究紀要 第 26 号、神戸市立
博物館 館藏品目録 美術の部 26 近世絵画、神戸市立博物館 館藏品
目録 考古・歴史の部 26 写真・絵葉書
美術館だより Vol.32、33
明石市立文化博物館ニュース 60、暮らしのうつりかわり展 - あかしさんち
のいちにち -
好古館だより 65~67
西宮市立郷土資料館ニュース第 34、35 号、西宮市立郷土資料館報平成 20 年
度(2008)、平成 21 年度(2009)、西宮歴史調査団年報 2008 年度版、2009
年度版、西宮市立郷土資料館第 25 回特別展示 よみがえる江戸時代の西宮
西宮町のすがた、収蔵資料目録 第六集 西宮市所蔵文書(一)、西宮の山
岳信仰
美術館だより Vol.106~109
城郭研究室年報 Vol.20
姫路市書写の里美術工芸館だより Vol.58~60、企画展示「播磨の木工芸」展
発掘調査速報展 2010
姫路藩とふくさき~播磨國のふくさき絵巻~
竹中大工道具館 NewsVol.23、24
あまがさき文化財だより 2、尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成 16 年度 - 東
富松遺跡 B 第 14 次調査、武庫庄遺跡第 74 次調査地、概要 - 、尼崎市埋蔵文
化財遺跡分布地図及び手引き、クローズアップ、弥生人、復元 目で見る卑
弥呼の世界、弥生の集落
加東市文化財年報 - 2007 年度 - 、 - 2008 年度 - CD 版、世界に一つ 加東遺
産 ガイドブック、加東市内遺跡確認調査概要~平成 20 年度国庫補助金事
業に係る調査~
高岸・五反田遺跡 - 中町西線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査 - 、安坂・門
田遺跡洲本市立淡路文化史料館 淡路文化史料館収蔵史料目録第 22 集
暮らしと歴史のまなび方 - 知内「村の日記」から出発 -
美術史論集第 11 号
奈良県立美術館年報平成 20 年度、奈良県立美術館紀要第 23・24 合併号
モノまんだら クジ・袋 - 人にとってもモノとは何か -

| | |
|---------------------------|---|
| 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 | 大和を掘る 28、平城遷都 1300 年記念春季特別展大唐皇帝陵、奈良時代の匠たち - 大寺建立の考古学 - |
| 香芝市二上山博物館 | 越中と大和ふたつの二上山～二上山麓の古墳を考える～ |
| 葛城市歴史博物館 | 染と織 - 藍・木綿 -、華の都の南西で 葛城と平城京 |
| 大和文華館 | 季刊美のたより 170～173 |
| 奈良市教育委員会 | 平成 21 年度奈良市文化財調査報告 奈良市石造物調査報告書 - 都祁・月ヶ瀬地区所在指定文化財等石造物 - |
| 財団法人元興寺文化財研究所 | 曲川遺跡発掘調査概要報告書 2007 年度調査、もの・ワザ・情報 - 古の匠に挑む -、平城京左京四条二坊九坪（田村第跡） - 平成 19 年度発掘調査報告書 -、財団法人大和文化財保存会援助事業による金剛寺の版木（摺写物篇） |
| 奈良文化財研究所 | 奈良文化財研究所概要 2010、奈良文化財研究所紀要 2010、平城京 奈良の都のまつりごととくらし |
| 奈良文化財研究所飛鳥資料館 | 飛鳥の考古学 2010、平成 22 年度夏期企画展 小さな石器の大きな物語、飛鳥資料館開館 35 年平城遷都 1300 年祭記念 飛鳥資料館春期特別展示 キトラ古墳壁画四神 |
| クテ打組紐技法研究所 | クテ打組紐技法入門、クテ打組紐技法への招待 |
| 文学表現と思想の会 | 異土第 2 号 |
| 個人 | 熊野灘沿岸地域を中心とした中世・近世葬送墓制の研究 |
| 和歌山県 | |
| 和歌山県立博物館 | 博物館だより 15、研究紀要第 15、16 号、和歌山県立博物館ニュース 150、特別展 野呂介石 - 紀州の豊かな山水を描く -、世界遺産登録 5 周年記念特別展 熊野三山の至宝 - 熊野信仰の祈りとかたち -、京都安楽寿院と紀州・"あらかわ" - 木食を支えた僧・覚栄の事績を中心に -、移動する仏像 - 有田川町の重要文化財を中心に - |
| 和歌山市立博物館 | 和歌山市立博物館館報 25、和歌山市立博物館研究紀要第 25 号、よみがえる和歌山の縄文世界 人・暮らし・祈り、紀州徳川家のお姫さま |
| 岡山県 | |
| 岡山県立博物館 | 年報平成 21 年度、岡山県立博物館だより第 74、75 号、研究報告第 31 号、古代出雲展 - 神々の世界 -、鬼ノ城～謎の古代山城～、晴れの国の名宝 - 岡山の国宝・重要文化財 - |
| 岡山県立美術館 | 岡山県立美術館館ニュース 89～91、岡山美の回廊 |
| 岡山市立オリエント美術館 | 岡山市立オリエント美術館研究紀要 24 |
| 広島県 | |
| 広島県立歴史博物館 | 広島県立歴史博物館ニュース第 83～85 号 |
| 広島県立みよし風土記の丘広島県立歴史民俗資料館 | 年報第 29 号、30 年のあゆみ |
| 財団法人遺芳文化財団 | 日本はきもの博物館・日本郷土玩具博物館 2009 年度年報 |
| 島根県 | |
| 島根県立古代出雲歴史博物館 | 島根県立古代出雲歴史博物館 NEWSVol.14、15 |
| 島根県古代文化センター | 島根県古代文化センター調査研究報告書 30 出雲大社の御師と神徳弘布 |
| 島根県古代文化センター・島根県立古代出雲歴史博物館 | 神在月古代文化シンポジウム王墓誕生 - 出雲に王が生まれた時 - |
| 山口県 | |
| 山口県立美術館 | 山口県立美術館年報平成 19～20 年、山口県立美術館ニュース天花 114 |
| 下関市立考古博物館 | 下関市立考古博物館年報 15 - 平成 21 年度 -、研究紀要第 14 号、あやらぎ 21、「もったいない」の考古学 |
| 徳島県 | |
| 徳島市立徳島城博物館 | 徳島市立徳島城博物館年報、阿波絵図の世界、阿波の木偶門付け芸、新収蔵品展、林鼓浪 画業と生活、徳島藩主蜂須賀家 歴代肖像画の世界、描かれた城下町 - 水都発見 -、蜂須賀三代 正勝・家政・至鎮 - 二五万石の礎 - |

香 川 県

香川県歴史博物館

香川県立ミュージアム NEWSVol.9～12、第57回日本伝統工芸展出品目録、高松松平家博物図書 衆芳画譜 花卉 第四、高松松平家博物図書 衆芳画譜 花果 第五

愛 媛 県

愛媛県歴史文化博物館

愛媛県歴史文化博物館だより 61～64、研究紀要第15号、芸術文化振興基金助成事業 歌舞伎と文楽の世界 - 愛媛の伝統芸能 -、愛媛県歴史文化博物館資料目録 嶋山菊池家文書・皆田宇都宮家文書目録、えひめ発掘物語 & 絵で見る考古学～早川和子原画展～、伊予の城めぐり - 近世城郭の誕生 - 白洲正子「神と仏、自然への祈り」

愛媛県美術館

高 知 県

高知県立歴史民俗資料館

高知県立歴史民俗資料館だより岡豊風日(おこうふうじつ)第70～74号、幕末維新 土佐庶民生活誌、昔のおもちゃ博物館

福 岡 県

九州国立博物館

九州国立博物館季利情報誌 AsIageVol.16～20、湖の国の名宝展、馬 アジアを駆けた二千年

福岡市博物館

福岡市博物館年報 16 平成 19 年(2007)度、福岡市博物館研究紀要第 19 号、平成 18 年度収集収蔵品目録 24

北九州市立自然史・歴史博物館

北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史 第 7 号、北九州市立自然史・歴史博物館 布のこころ 受け継がれる母の想いとくらし美

福岡市教育委員会

福岡市埋蔵文化財センター年報第 28 号

筑前町教育委員会

筑前町内遺跡分布地図第 11 集

大 分 県

大分県立歴史博物館

おおいた歴博 28～31、豊後国山香郷 1 国東半島荘園村落遺跡群細分布調査概報

大分市歴史資料館

横尾貝塚国史跡指定記念 第 28 回特別展 山ん縄文と海ん縄文 縄文人のムラのかたち

宇佐市教育委員会

市内遺跡発掘調査概報 16 平成 19 年度調査の概要、市内遺跡発掘調査概報 17 平成 20 年度調査の概要、宇佐地区遺跡群発掘調査報告書 瓦塚遺跡、市内遺跡発掘調査事業報告書 第 4 集 妙楽寺経塚

熊 本 県

八代市立博物館未来の森ミュージアム

八代城主 松井家の名宝～珠玉の松井文庫コレクション～

沖 縄 県

財団法人海洋博覧会記念公園管理財団

南ぬ風夏号 Vol.15～18

そ の 他

韓国国際交流財団

日本語版 Koreana 韓国の芸術および文化 Vol.17 1～4

NATIONAL MUSEUM OF KOREA

A Journey of Soul the buddist painting of the joseon period

(2) 資料の保管

() 収蔵環境管理

博物館収蔵資料の保存に万全を期し、資料の活用を通じて社会に貢献するという博物館に課せられた基本的な使命を果たしていくためには、博物館施設・設備を良好に維持管理していくことが必要である。とりわけ、様々な博物館事業を進めていくための根幹となる資料の収蔵環境の維持に関しては、下記のような項目を実施した。

なお、平成 21 年度から実施された栗東市財政再構築プログラムの一環として、歴史民俗博物館では、従来は機会制御で行ってきた空調機の運転を学芸員の監視のもとでの手動運転へと切り替えている。
 日常管理：展示室・機械室等の巡回点検・監視記録・報告。館内清掃（委託）。旧中島家住宅管理業務（委託）

月次管理：自記式温室度計の記録紙交換。収蔵庫、展示室を含む館内巡視。

季節管理：空調機の夏冬設定切り替え（春秋）中央監視盤スケジュール設定変更（年頭）。

資料受け入れや収蔵にかかる管理：清掃と点検を行い、必要に応じて燻蒸等の処置を行う。

() 生物被害対策

博物館設備のメンテナンスや、加害生物についてのモニタリング調査、IPM 研修、博物館収蔵資料の燻蒸を行うことにより、収蔵品や展示物を適切な環境下に置き、安全に保管していくことに努めた。

(3) 資料の活用

() 資料貸出

| 資料名 | 員数 | 年月 | 貸出目的 | 貸出先 |
|--|--|--------|--|--|
| 草津川堤防の桜（写真、里内文庫 260-2-79） 草津桜まつり（チラシ、里内文庫 312-60） | 1点 1点 | H22.4 | 春季テーマ展草津川植樹 100 周年記念「さくら - 京・大坂・近江の花見」にて出品、併せて図録等に掲載すること | 草津市立草津宿街道交流館 |
| 絹本著色阿弥陀如来像 絹本著色阿弥陀三尊来迎図 （いずれも真宗大谷派安養寺より受託） | 1点 1点 | H22.7 | 平成 22 年度テーマ展「阿弥陀仏への祈り」にて出品、併せて展覧会関連印刷物に掲載すること | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| メシフゴ 育児フゴ 火熨斗 ユタンポ 竿秤 牛のクツ ヨコツチ ワラソウリ センタクイタ | 1点 1点 1点 1点 1点 1点 1点 1点 | H22.7 | 高齢者を対象とした「思い出を語ろう」にて、思い出を引き出すためのアイテムとして利用すること | 下戸山わくわくサロン |
| 平和のいしづえ写真パネル | 28点 | H22.7 | 葉山東学区「平和のいしづえ」事業の教材に使用すること | コミュニティセンター葉山東 |
| 寂室元光遺誠 寂室元光墨蹟（遺偈） 寂室元光墨蹟（風攪飛泉詩） （いずれも永源寺より受託） | 1点 1点 1点 | H22.10 | 特別展「岡山・美の回廊」にて出品、併せて図録等に掲載すること | 岡山県立美術館 |
| 木造僧形神坐像 （金勝寺より受託） | 1点 | H22.10 | 生誕 100 年特別展「白洲正子 神と仏、自然への祈り」にて出品、併せて図録等に掲載すること | 滋賀県立近代美術館、愛媛県立美術館、世田谷美術館、NHK 事業部、NHK プロモーション、NHK プラネット |
| 平和のいしづえ写真パネル | 30点 | H22.12 | 栗東市立葉山東小学校 6 年生「戦争体験」教材に使用すること | コミュニティセンター葉山東 |
| 四季耕作図蒔絵付黒蠟色膳・椀 | 20組 | H23.2 | 開館 20 周年記念特別展「描かれた農 - 四季耕作図 - 」にて出品、併せて図録等に掲載すること | 安城市歴史博物館 |

| | | | | |
|---------------------------|----|-------|---|--------------|
| 絹本著色両界曼荼羅図 (園養寺より受託) | 2幅 | H23.2 | 第41回企画展「近江の観音像と西国三十三所巡礼」にて出品、併せて図録等に掲載すること | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 竹村定治コレクションのうちNゲージ模型、レールなど | 一式 | H23.3 | 長浜鉄道スクエア春季企画展「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」にて出品すること | 社団法人長浜観光協会 |

()特別利用(閲覧・撮影・原板使用等)

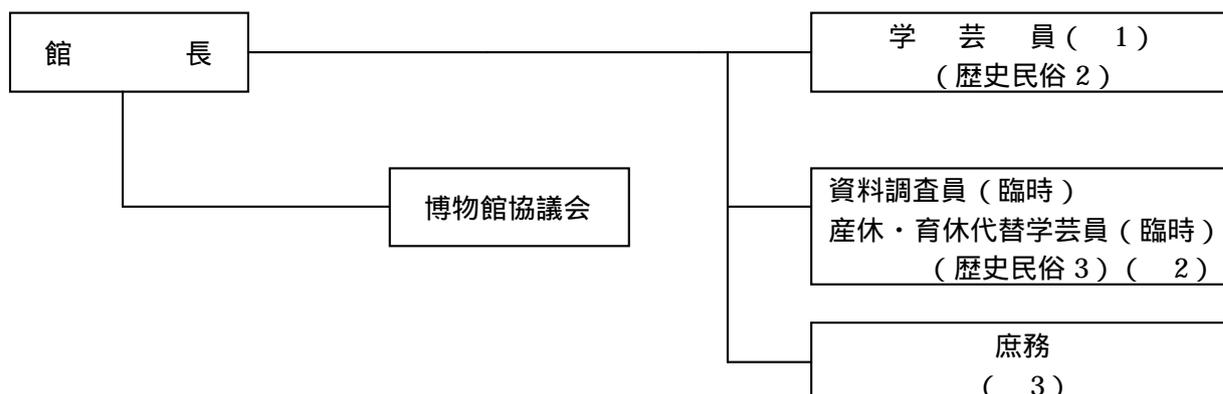
| 資料名 | 年月 | 利用目的 | 利用区分 | 利用者 |
|--|-------|------------------------------------|-------|--------------------------------|
| 大字下戸山小字別地図(地籍図 86) | H22.4 | 境界確認 | 熟覧・撮影 | 加古事務所 |
| 旧和中散本舗外觀写真 | H22.4 | 『近江東海道を歩く』に掲載 | 原板使用 | サンライズ出版株式会社 |
| 『鉤の陣とその時代』展示図録掲載写真のうち「足利義尚花押」ほか7点 | H22.5 | 『近江の文化と伝統』(つがやま市民文化教養講座30周年記念事業)掲載 | 転載 | 財団法人 守山野洲市民交流プラザ Riseville 都賀山 |
| 勘録興福寺末派社寺疏記(里内文庫 71-33) | H22.5 | 飯飯寺研究 | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 大宝村村制(里内文庫 2-4)ほか里内文庫資料23点 | H22.5 | 栗東市縷の郷土歴史研究 | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 膳所仇討聞書平井兄弟復讐譚(里内文庫 82-9) | H22.5 | 地方史研究調査のため | 撮影 | 個人 |
| 天王相撲料米帳(『大宝神社文書』25)ほか『大宝神社文書』資料52点 | H22.5 | 栗東市縷の郷土歴史研究 | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 南嶺和尚入寺記録(『永源寺文書』函 212-1)ほか『永源寺文書』資料7点 | H22.5 | 松雲寺の寺史調査のため | 熟覧・撮影 | 松雲寺住職 |
| 栗東町地図(安養寺・上砥山)(地籍図 115) | H22.5 | 不動産管理事務の参考とするため | 熟覧・撮影 | 栗東トレーニング・センター |
| 大字中沢小字別地図 | H22.6 | 境界確認 | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 淡海温故録 | H22.6 | 『シリーズ近江の文化財』への掲載 | 転載 | 財団法人滋賀県文化財保護協会 |
| 曾我蕭白筆「楼閣山水図襖」4面「松竹梅図襖」4面 | H22.6 | 曾我蕭白の画風変遷に関する調査・研究のため | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 内記謙一氏写真アルバムより8点 | H22.6 | 大宝西小学校3年生との交流活動に利用するため | 熟覧・撮影 | コミュニティセンター大宝西 |
| 小柿村地引全図(地籍図 19) 大字小野地籍図(地籍図 44) | H22.7 | 官民境界確定のため | 熟覧・撮影 | 栗東市 土木交通課 |
| 小柿村地引全図(地籍図 19) 大字小柿小字別地図(地籍図 84) | H22.7 | 境界確認 | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 千手観音菩薩立像(福寿寺所蔵)ほか福寿寺所蔵文化財写真4点 | H22.7 | 町田市立国際版画美術館主催「救いのほと-観音と地蔵の美術-」図録掲載 | 原板使用 | 町田市立国際版画美術館 |
| 大字川辺小字別地図(地籍図 80) | H22.7 | 地番確認 | 熟覧・撮影 | 株式会社滋賀コンサル |
| 織田信長肖像(浄蔵院所蔵) | H22.7 | 歴史群像シリーズ『激震・織田信長』新装版への掲載 | 転載 | 有限会社ブルボンクリエイション |
| 紙本墨書寂室元光墨蹟(『永源寺文書』絵画・書籍・典籍編 138)ほか『永源寺文書』資料11点 | H22.9 | 永源寺開山寂室元光の禅仏法の研究 | 熟覧 | 個人 |
| 旧和中散本舗 大角家住宅 屋号看板 | H22.7 | 景観啓発に係るイベント準備として活用するため | 撮影 | 栗東市 都市計画課 |
| 木内石亭肖像画 | H22.8 | 『週刊江戸』38号への掲載 | 原板使用 | 株式会社アーテファクトリー |
| 旧中島家住宅内民具類 | H22.8 | 夏休みの宿題 | 撮影 | 個人(栗東市立大宝東小学校3年生) |
| 大字北中小路地籍図(地籍図 48) 大字北中小路溝川調査絵図(地籍図 72) 大字北中小路小字別地図(地籍図 94) | H22.8 | 官民境界確定協議の調査 | 熟覧・撮影 | 栗東市土木交通課 |
| 金勝川堤防修築工事平面図(地籍図 65) 金勝川堤防平面図(里内文庫 317-20) | H22.8 | 金勝川の歴史についての調査 | 熟覧 | 株式会社日建技術コンサルタント |

| | | | | |
|--|--------|---|-------|------------------------|
| 犁 写真2点 | H22.8 | 『商経論叢』45巻4号掲載論文「民具から見た百済・高句麗難民の動向」への掲載 | 原板使用 | 個人 |
| 木造釈迦如来坐像、木造虚空蔵菩薩半跏像(いずれも金勝寺所蔵)写真2点 | H22.9 | 月刊『旅行読売』11月号の特集記事に掲載 | 原板使用 | 個人 |
| 木造釈迦如来坐像(金勝寺所蔵)ほか金勝寺所蔵仏像写真8点 | H22.9 | 観光情報発信用として、複製作成 | 原板使用 | 栗東市経済観光振興課 |
| 林村地籍全図(地籍図目録42)大字林水路図(地籍図43)大字林字限り地図(地籍図97) | H22.9 | 道路の確認 | 熟覧 | 個人 |
| 興性寺次第之事(『興敬寺文書』1)ほか『興敬寺文書』資料など41点 | H22.9 | 『近江日野の歴史』第8巻へ掲載 | 原板使用 | 日野町教育委員会 |
| 愛宕講仲間覚帳1通他関連綴(里内文庫264-17)ほか里内文庫資料37点 | H22.9 | 郷土史研究 | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 六角氏奉行人連署奉書(『永源寺文書』函222-21)ほか『永源寺文書』資料89点 | H22.10 | 古文書料紙の物理的修法による調査研究 | 熟覧・撮影 | 九州国立博物館保存修復室長 |
| 琵琶湖近傍大絵図(里内文庫355-1)写真1点 | H22.10 | 研究紀要『近江学』第3号掲載論文への掲載のため | 原板使用 | 成安造形大学附属近江学研究所 |
| 大字下戸山水路図(地籍図53)大字下戸山小字別地図(地籍図86) | H22.10 | 官民境界確定のため | 熟覧・撮影 | 栗東市土木交通課 |
| 山岡景隆像写真1点、新開4号墳出土船型埴輪写真1点 | H22.10 | ガイドブック『近江湖物語4』に掲載するため | 原板使用 | 滋賀県文化財保護課 |
| 金勝寺制札写真1点 | H22.10 | 『Jr.日本の歴史』第3巻「武士の世の幕開け」に掲載のため | 原板使用 | 株式会社小学館 |
| 毘沙門天像(錦織寺所蔵)写真2点 | H22.10 | 親鸞展(京都市美術館)図録掲載のため | 原板使用 | 株式会社朝日新聞社企画事業本部大阪企画事業部 |
| 栗東中学校旧校舎の写真1点 | H22.11 | 栗東市自治連合会の機関紙「自治連だより」に掲載 | 原板使用 | 栗東市自治連合会 |
| 明治十一年滋賀県管下御巡幸道程明細記(里内文庫36-13)ほか里内文庫資料17点 | H22.11 | 滋賀県教育史研究(明治前期)のため | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 旧和中散本舗 木製製菓機の写真1点 | H22.12 | 『週刊江戸』51号への掲載 | 原板使用 | 株式会社アーテファクトリー |
| 大字六地藏地籍図(地籍図37)ほか地籍図4点 | H22.12 | 境界確認のため | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 釈迦如来及四天王像(常楽寺所蔵)写真1点 | H22.12 | 『仏画類聚』第1巻に掲載 | 原板使用 | 株式会社藝華書院 |
| 厨子入馬郎婦観音像(永源寺所蔵)写真2点、絹本着色三十三所観音曼荼羅図(石山寺所蔵)写真1点 | H22.12 | 滋賀県立安土城考古博物館第41回企画展「近江の観音像と西国三十三所巡礼」図録に掲載 | 原板使用 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 足利義満御判御教書(『永源寺文書』函232-11)足利義政御判御教書(『永源寺文書』函232-12) | H23.1 | 鳥取市歴史博物館平成23年度特別展「庭先にひろがる中世社会～因幡国荘園の世界」(仮)にかかる事前準備のため | 熟覧・撮影 | 鳥取市歴史博物館 |
| 木造十一面観音立像(熊野神社所蔵) | H23.1 | 滋賀県内における十一面観音立像の個人研究 | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 大字上鉤道路図(地籍図56)大字上鉤用悪水路図(地籍図57)大字上鉤小字別地図(地籍図82) | H23.1 | 公図調査 | 熟覧・撮影 | 栗東市土木交通課 |
| 龍溪性潜像1幅、十八羅漢像18幅のうち3幅、大蔵経請去総牒1冊(2点)以上写真5点 | H23.1 | 特別展「黄檗 - OBAKU - 」図録作成のため | 原板使用 | 九州国立博物館 |
| 日光例幣使行列図(里内文庫330-4) | H23.1 | 卒業論文作成のため | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 横井金谷書状(宗栄寺所蔵) | H23.1 | 草津市立草津宿街道交流館春季テーマ展「金谷～郷土が生んだ放浪の画僧」にかかる資料調査のため | 熟覧・撮影 | 草津市立草津宿街道交流館 |
| 大字川辺水路図(地籍図58)大字川辺小字別 | H23.1 | 境界確認のため | 熟覧・撮影 | 栗東市 |

| | | | | |
|---|-------|--|-------|--------------|
| 地図(地籍図 80) | | | | 土木交通課 |
| 木造阿弥陀如来立像(浄光寺所蔵)写真1点、木造阿弥陀如来立像(真教寺所蔵)写真1点 | H23.2 | 龍谷大学龍谷ミュージアムの開催する「釈尊と親鸞」展にかかる刊行物に掲載するため | 原板使用 | 龍谷大学龍谷ミュージアム |
| 栗太郡上田上村郷土誌(里内文庫 277-1)ほか里内文庫資料3点 | H23.2 | 障子川の幅員や形態の確認 | 熟覧 | 個人 |
| 阿弥陀如来立像 蓮如陰刻銘(隋願寺所蔵)写真3点 | H23.2 | 長浜市長浜城歴史博物館特別展「湖北真宗の至宝と文化」図録への掲載 | 原板使用 | 長浜市長浜城歴史博物館 |
| 山中東江筆「生類真写」写真3点 | H23.2 | 別冊太陽「長沢芦雪」に掲載 | 原板使用 | 株式会社平凡社 |
| 絹本著色永源寺境致図(『永源寺文書』絵画・書籍・典籍編 70)写真2点 | H23.2 | 永源寺開山 650 周年御遠忌(平成 29 年)に向けた準備 | 原板使用 | 千眞工藝 |
| 鯛口(兵主大社所蔵)写真1点 | H23.2 | 平成 22 年度滋賀県有形指定文化財(美術工芸品)指定に伴う広報のため | 原板使用 | 滋賀県文化財保護課 |
| 近江国栗太郡村誌 三、四 | H23.2 | 障子川の幅員調査 | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 新開 4 号墳出土船型埴輪写真1点 | H23.2 | 『琵琶湖が織りなす重要文化的景観』への掲載 | 熟覧・撮影 | 滋賀県文化財保護課 |
| 鯛口(兵主大社所蔵)写真1点 | H23.3 | 滋賀県立安土城考古博物館で開催される特別公開「平成 22 年度滋賀県指定文化財」でのパネル展示 | 原板使用 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 木造千手観音立像(善勝寺所蔵)写真1点、軍荼利明王(金勝寺所蔵)写真1点 | H23.3 | 『近江のかくれ里』に掲載 | 転載 | 個人 |
| 物部村ノ旱害調査(里内文庫 9-27)ほか里内文庫資料25点 | H23.3 | 郷土史の研究 | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 木造日野富子坐像(宝鏡寺所蔵)写真1点ほか文化財写真5点 | H23.3 | 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」滋賀県推進協議会のホームページ「江のふるさと近江」内にて、「特集近江の姫たち」として公開 | 原板使用 | 滋賀県文化財保護課 |
| 鉄砲拝借証文(里内文庫 290-60)ほか里内文庫資料36点 | H22.3 | 大学での授業「古文書演習」に用いる | 撮影 | 個人 |
| 栗東市有黒田重幸氏寄贈文書のうち2点 | H23.3 | 大学での授業「古文書演習」に用いる | 写真の複写 | 個人 |
| 曲玉問答 | H23.3 | 調査研究 | 熟覧・撮影 | 個人 |
| 新開 4 号墳出土船型埴輪 | H23.3 | 平成 23 年度荒神谷博物館特別展示「黄泉の国を探る～洞窟遺跡から見えるもの～」出品に関わる資料調査 | 熟覧・撮影 | 荒神谷博物館 |

5.組織と管理運営

(1) 組織



- (1) 平成 22 年 10 月 22 日より 1 名が産休・育休を取得
 (2) 平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 10 月 21 日までは資料調査員(臨時)2名。
 平成 22 年 10 月 22 日から平成 22 年 10 月 31 日までは資料調査員(臨時)1名、
 産休・育休代替学芸員学芸員(臨時)1名。
 平成 22 年 11 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までは資料調査員(臨時)2名、
 産休・育休代替学芸員学芸員(臨時)1名。
 (3) 非常勤職員 1 名、財団法人栗東市文化体育振興事業団からの派遣研修生 1 名。

(2) 職員

| | |
|----------------|--------------------------|
| 名誉館長 | 宇野 茂樹 |
| 館長 | 佐々木 進 |
| 学芸員 | 大西 稔子 |
| 学芸員 | 中川 敦之 |
| 派遣研修生 | 吉川 素子 |
| 事務補助(臨時) | 奥田 安枝 |
| 資料調査員(臨時) | 小野 翠(～平成 22 年 10 月 21 日) |
| 産休・育休代替学芸員(臨時) | 同 上(平成 22 年 10 月 22 日～) |
| 資料調査員(臨時) | 櫻井 信也 |
| 資料調査員(臨時) | 西山 保(平成 22 年 11 月 1 日～) |

(3) 職員の活動

佐々木 進

〔職務分掌〕

学芸業務の指導、助言に関すること

〔執筆〕

「愍念寺伝来の黄檗版大蔵経について」(『栗東歴史民俗博物館紀要 第 17 号』) 平成 23 年 3 月
 「愍念寺蔵黄檗版大蔵経目録」(『栗東歴史民俗博物館紀要 第 17 号』) 平成 23 年 3 月

〔館外活動〕

| | |
|------------------|----------------------------------|
| 同志社大学非常勤講師(博物館学) | 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日 |
| 京都大学非常勤講師(博物館学) | 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日 |
| 佛教大学非常勤講師 | 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日 |
| 滋賀県所在梵音具調査主任調査員 | 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日 |

滋賀県美術工芸品実態調査主任調査員 平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
「生誕 100 年特別展 白洲正子 神と仏、自然への祈り」 展示指導
平成 22 年 10 月 11 日、12 日、16 日
社会教育ボランティア歴史探訪「浅井三姉妹“江姫”ゆかりの寺院を巡る」 講師
平成 22 年 11 月 10 日、16 日
山寺町文化講座「小槻大社の歴史について」 講師 平成 23 年 1 月 16 日
奈良国立博物館列品買取等協議員 平成 23 年 2 月 17 日

大西 稔子

〔職務分掌〕

学芸業務

旧中島家住宅の啓発普及

博物館教室「昔の暮らし」の開催

栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会の活動に関すること

〔執筆〕

りっとう再発見 65 「草津線の開業と関西鉄道の乗客獲得運動

～幻の路線と新善光寺臨時停車場～」(広報りっとう 8 月号) 平成 22 年 8 月

中川 敦之

〔職務分掌〕

学芸業務

関係機関との連携事業の推進

栗東歴史民俗博物館ホームページの運用

栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会の活動に関すること

〔執筆〕

りっとう再発見 61 「大宝神社の例大祭」(広報りっとう 4 月号)

平成 22 年 4 月

りっとう再発見 63 「草津線の開通と手原駅の開業」(広報りっとう 6 月号)

平成 22 年 6 月

りっとう再発見 67 「竹村定治さんと鉄道資料コレクション」(広報りっとう 10 月号) 平成 22 年 10 月

「栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会の活動について」(『栗東歴史民俗博物館紀要 第 17 号』)

平成 23 年 3 月

〔館外活動〕

草津保険所管内地域活動栄養士協議会勉強会 講師

平成 23 年 3 月

吉川 素子

〔職務分掌〕

博物館の一般事務に関すること

関係機関との連携事業の推進

博物館研修室の施設利用の促進

博物館事業の広報活動に関すること

図書、ポスター等の在庫管理、及び受贈、交換図書、ポスター等の受入れ、発送に関すること

奥田 安枝

〔職務分掌〕

博物館の一般事務に関すること

博物館の予算に関すること

博物館の施設設備及び備品の維持管理

小野 翠

〔職務分掌〕

学芸業務

旧中島家住宅の啓発普及

博物館教室「昔の暮らし」の開催

栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会の活動に関すること

櫻井 信也

〔職務分掌〕

学芸業務

資料調査（歴史資料の調査・整理）

〔執筆〕

りっとう再発見 69「「鉤」という地名」(広報りっとう 2月号)

平成 23 年 2 月

「近江国栗太郡の条里復元」

(『栗東歴史民俗博物館紀要 第 17 号』)

平成 23 年 3 月

〔館外活動〕

大谷大学非常勤講師（古文書解読法）

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

放送大学滋賀センター非常勤講師（古代近江国の仏教と寺院の歴史）

平成 22 年 8 月 7 日、8 日

龍谷大学エクステンションセンター生涯学習講座講師（近江京と壬申の乱）

平成 22 年 4 月～7 月

西山 保

〔職務分掌〕

学芸業務の補助

旧中島家住宅の啓発普及の補助

博物館教室「昔の暮らし」の開催の補助

(4) 博物館協議会

() 委員

会 長

渋江 善光（栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会会長）

副会長

月野 みつ（社会教育講座講師）

委 員

石丸 正 運（元滋賀県立近代美術館館長）

大橋 信 弥（滋賀県立安土城考古博物館学芸課長）

葛城 直 人（栗東市立治田小学校校長）

澤 絢 子（栗東市社会教育委員）

西尾 悦 子（治田東主任児童委員）

山内 君 代（画家）

山本 喜三雄（栗東市文化協会副会長）

吉見 静 子（栗東市文化財審議会委員）

() 協議事項

第 40 回 平成 22 年 3 月 23 日(木)午後 2 時から

協議事項

(1)平成 22 年度博物館事業報告

(2)平成 23 年度博物館事業計画について

(5) 決算

歳入

| | | |
|----|-----------------|-----------|
| 歳入 | | 1,599,198 |
| | 歴史民俗博物館施設使用料 | 115,000 |
| | 歴史民俗博物館図録頒布代等 | 223,135 |
| | 緊急雇用創出特別推進事業補助金 | 1,261,063 |

歳出

| | | | |
|------------|-------------|--------------|-----------|
| 歳出 | | 42,376,297 | |
| 人件費 | | 11,004,119 | |
| 資料調査事業 | | 5,453,390 | |
| | 賃金 | 資料調査員等賃金 | 5,400,370 |
| | 需用費 | 消耗品費 | 51,235 |
| | | 印刷製本費 | 1,785 |
| 博物館資料製作等事業 | | 399,840 | |
| | 委託料 | 資料保存修理等 | 399,840 |
| 企画展等開催事業 | | 80,994 | |
| | 需用費 | 消耗品費 | 80,994 |
| 博物館管理運営経費 | | 25,437,954 | |
| | 報酬 | 協議会委員等報酬 | 38,000 |
| | 賃金 | 事務補助員等賃金 | 3,108,589 |
| | 旅費 | 文化庁主催研修受講 | 90,580 |
| | 需用費 | 消耗品費 | 228,919 |
| | | 印刷製本費 | 512,400 |
| | | 光熱水費 | 8,908,751 |
| | | 修繕費 | 3,115,298 |
| | 役務費 | 通信運搬費 | 183,045 |
| | | 手数料 | 4,950 |
| | 委託料 | 施設維持・設備点等委託料 | 7,662,916 |
| | 使用料及び賃借料 | 中央監視盤リース料金等 | 1,409,706 |
| | 備品購入費 | | 47,250 |
| | 負担金、補助及び交付金 | 日本博物館協会会費等 | 127,550 |

(6) 入館者数

前年度までの推移

| 年 度 | 一 般 | 高・大生 | 小・中生 | 合 計 | 有料入館者 | 研修室等 | 旧中島家 | 人数/日 | 開館日数 |
|------|--------|------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|------|
| 2年度 | 7,480 | 195 | 2,110 | 9,785 | 1,746 | 584 | - | 63.95 | 153 |
| 3年度 | 12,346 | 472 | 4,683 | 17,501 | 2,634 | 3,620 | - | 58.73 | 298 |
| 4年度 | 12,620 | 718 | 5,420 | 18,758 | 3,845 | 3,422 | - | 66.05 | 284 |
| 5年度 | 13,266 | 870 | 5,166 | 19,302 | 3,984 | 5,435 | - | 67.02 | 288 |
| 6年度 | 12,404 | 635 | 4,489 | 17,528 | 3,481 | 6,990 | 11,902 | 60.86 | 288 |
| 7年度 | 13,248 | 902 | 4,454 | 18,604 | 3,354 | 6,247 | 9,168 | 63.71 | 292 |
| 8年度 | 11,559 | 468 | 3,168 | 15,195 | 3,738 | 7,063 | 7,547 | 53.50 | 284 |
| 9年度 | 13,052 | 432 | 3,658 | 17,142 | 3,400 | 3,702 | 7,949 | 59.11 | 290 |
| 10年度 | 11,595 | 332 | 3,597 | 15,524 | 2,339 | 6,877 | 7,676 | 54.86 | 283 |
| 11年度 | 11,976 | 359 | 3,673 | 16,008 | 3,117 | 6,090 | 8,129 | 56.36 | 284 |
| 12年度 | 12,082 | 417 | 3,651 | 16,150 | 3,033 | 5,876 | 8,643 | 56.27 | 287 |
| 13年度 | 9,029 | 442 | 3,825 | 13,296 | 2,403 | 467 | 8,979 | 47.15 | 282 |
| 14年度 | 8,814 | 390 | 2,102 | 11,306 | 2,229 | 2,370 | 6,614 | 38.99 | 290 |
| 15年度 | 8,094 | 343 | 3,078 | 11,515 | 2,780 | 5,393 | 7,201 | 43.13 | 267 |
| 16年度 | 7,148 | 188 | 3,285 | 10,621 | 2,097 | 4,372 | 6,227 | 40.38 | 263 |
| 17年度 | 6,942 | 180 | 3,302 | 10,424 | 2,285 | 3,848 | 4,841 | 39.63 | 263 |
| 18年度 | 8,700 | 187 | 4,714 | 13,601 | 2,278 | 7,100 | 5,678 | 53.13 | 256 |
| 19年度 | 7,714 | 177 | 2,878 | 10,769 | 2,063 | 6,278 | 4,840 | 39.30 | 274 |
| 20年度 | 8,119 | 147 | 3,337 | 11,603 | 1,602 | 5,462 | 4,967 | 44.29 | 262 |
| 21年度 | 7,784 | 79 | 1,824 | 9,687 | - | 5,291 | 4,256 | 35.48 | 273 |

| 月 | 入館者 | | | 合計 | 有料入館者 | 研修室等 | 旧中島家 | 人数/日数 | 開館日数 |
|--------|-------|------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|------|
| | 一般 | 高・大生 | 小・中生 | | | | | | |
| 22年 4月 | 217 | 1 | 29 | 247 | - | 35 | 136 | 14.53 | 17 |
| 5月 | 269 | 6 | 50 | 325 | - | 34 | 273 | 12.50 | 26 |
| 6月 | 1,119 | 7 | 39 | 1,165 | - | 831 | 233 | 44.81 | 26 |
| 7月 | 148 | 1 | 24 | 173 | - | 28 | 125 | 9.61 | 18 |
| 8月 | 265 | 2 | 75 | 342 | - | 103 | 255 | 13.15 | 26 |
| 9月 | 2,217 | 0 | 1,002 | 3,219 | - | 2,258 | 682 | 214.60 | 15 |
| 10月 | 2,246 | 1 | 1,842 | 4,089 | - | 1,436 | 1,353 | 227.17 | 18 |
| 11月 | 410 | 8 | 418 | 836 | - | 143 | 622 | 36.35 | 23 |
| 12月 | 236 | 2 | 59 | 297 | - | 27 | 94 | 29.70 | 10 |
| 23年 1月 | 1,738 | 9 | 1,367 | 3,114 | - | 2,709 | 516 | 135.39 | 23 |
| 2月 | 511 | 2 | 351 | 864 | - | 563 | 430 | 48.00 | 18 |
| 3月 | 282 | 6 | 83 | 371 | - | 23 | 211 | 16.13 | 23 |
| 合計 | 9,658 | 45 | 5,339 | 15,042 | - | 8,190 | 4,930 | 61.90 | 243 |

年報 平成 22 年度

編集 栗東歴史民俗博物館

〒520-3016

滋賀県栗東市小野 223-8

TEL077-554-2733

FAX077-554-2755

<http://www2.city.ritto.shiga.jp/hakubutsukan/>